

令和3年度 泉区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区役所環境向上事業	12,204	12,204	11,627	11,627	577	577
2	窓口案内ボランティア事業	1,106	1,106	1,126	1,126	△ 20	△ 20
3	広報事業	2,162	1,756	1,638	1,202	524	554
4	区民相談事業	1,290	1,290	1,274	1,274	16	16
5	地域力支援事業	6,588	6,588	8,106	8,106	△ 1,518	△ 1,518
6	地域を支えるICT活用推進事業	2,900	2,900	0	0	2,900	2,900
7	農を生かしたまちづくり事業	1,109	1,091	524	506	585	585
8	脱温暖化行動啓発事業	673	673	673	673	0	0
9	定住・転入促進事業	5,950	5,950	5,930	5,930	20	20
10	商店街振興支援事業	1,462	1,462	1,462	1,462	0	0
11	深谷通信所跡地等活用事業	5,337	5,337	6,019	6,019	△ 682	△ 682
12	水・緑・みち魅力づくり支援事業	1,992	1,987	2,172	2,164	△ 180	△ 177
13	泉区ふれあいまつり支援事業【旧：地域交流行事支援事業】	3,000	3,000	1,700	1,700	1,300	1,300
14	自治会町内会振興事業	2,449	2,449	2,449	2,449	0	0
15	区民活動支援センター事業	643	643	643	643	0	0
16	多文化共生推進事業	2,608	2,608	2,747	2,711	△ 139	△ 103
17	ごみ減量化推進事業	2,424	2,424	2,467	2,467	△ 43	△ 43
18	防災対策事業	8,366	8,366	8,366	8,366	0	0
19	防犯対策推進事業	5,414	5,414	5,291	5,291	123	123
20	交通安全対策推進事業	4,613	4,613	4,836	4,836	△ 223	△ 223
21	自転車等放置防止事業	440	440	440	440	0	0
22	いずみ文化振興事業	4,503	4,503	4,583	4,583	△ 80	△ 80
23	区民スポーツ振興事業	1,748	1,748	1,748	1,748	0	0
24	青少年を育むまちづくり事業	796	796	846	846	△ 50	△ 50
25	いずみっこ子育て支援事業	1,979	1,979	1,530	1,530	449	449
26	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援充実事業	2,266	2,266	3,467	3,467	△ 1,201	△ 1,201

令和3年度 泉区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	保育施設・幼稚園等との協働による子育て支援推進事業	1,269	1,269	1,359	1,359	△ 90	△ 90
28	健康づくり活動支援事業	2,610	2,610	2,609	2,609	1	1
29	泉区地域包括ケア推進事業	1,535	1,535	2,030	2,030	△ 495	△ 495
30	和泉川健康みちづくり事業	1,065	1,065	2,230	2,230	△ 1,165	△ 1,165
31	障害児・者社会参加促進支援事業	1,381	1,381	2,190	2,190	△ 809	△ 809
32	泉区地域福祉保健計画推進事業	2,951	2,951	2,478	2,478	473	473
33	「食とくらし」の安全・動物愛護推進事業	686	686	769	769	△ 83	△ 83

予算区分	区役所総務費 区役所総務費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善 窓口サービス向上 子育て支援	事業開始年度	平成21年度
------	------------------------------------	-------------	-------------------------------------	--------	--------

事業名
区役所環境向上事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	12,204					12,204
前年度	11,627					11,627
増△減	577	0	0	0	0	577

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	15,226	11,642	12,223
	メリット+一般財源	15,226	11,642	12,223
決算	事業費	16,212	11,631	12,552
	メリット+一般財源	16,212	11,631	12,552

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	12,204	12,204
	一般財源	12,204	12,204

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	安全で快適な区庁舎の環境整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を図ります。 泉区人権啓発研修計画に基づく人権啓発講演会及び窓口サービス向上を図るための職員研修を実施します。 医療費控除確定申告に際し、税理士等による記載指導や案内を実施することで、来庁者の待ち時間の短縮を図るとともに混雑する窓口の円滑な案内・誘導を行います。 また、乳幼児を連れた区役所利用者向けに一時託児を設けます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 区庁舎等の環境整備 利用しやすく清潔な区庁舎環境を維持していくことが求められています。そのため、案内表示やカーペットの張替など庁舎内の環境を向上する必要があります。また、電気使用量の削減など省エネルギー化を図るための設備改修も必要です。 戸籍課窓口サービス向上 3月から4月の引越時期を中心に戸籍課窓口が常時混雑し待ち時間が長くなっています。そのため、現在の混雑状況をインターネット上でお知らせすることで時間に余裕を持った来庁を呼びかける必要があります。 人権啓発講演会・窓口対応職員研修 継続して人権意識の醸成を図っていくことが必要です。 区役所を利用する区民の満足が得られるよう、様々なケースに対応できる応接スキルの習得が必要です。 税務申告窓口サービス向上 税の確定申告時期には窓口が混雑し、来庁者の待ち時間が長くなるため、窓口における密集を回避する観点からも、改善する必要があります。 区役所利用者のための一時託児 子育てを行う区民にも利用しやすい区役所であることが求められています。そのため、手続や健診等の際に、一時的に乳幼児を預かる場所を設置する必要があります。 			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	5 区民アンケート	
2 運営方針等との関係	令和2年度 泉区運営方針 重点推進施策6「信頼される身近な区役所づくり」			
3 根拠法令・要綱等	泉区人権啓発職員研修実施要綱、地方税法・所得税法等、区役所利用者のための一時託児施設運営要綱			

【実績の推移・今後見込み】	<ul style="list-style-type: none"> 区庁舎等の環境整備 令和2年度は和泉川沿いベンチ改修等、環境整備を行いました。また、窓口環境改善のために2階待合ロビー用長チェアを購入しました。また、省エネのための設備改修(LED化)等を行いました。 戸籍課窓口サービス向上 マイナポイント制度開始による影響で一か月あたりの申請数が1,000件を超え過去5年間の月平均の約5倍と申請数が急増しています。今後もマイナンバーカードの健康保険証利用等で申請数が高止まりすることが見込まれます。
---------------	---

・人権啓発講演会・窓口対応職員研修

<人権啓発講演会>

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
テーマ	夢と絆	孤立と虐待のない街づくり ～無縁化する子どもを支える ためにできること	検討中
講師	新潟産業大学経済学准教授 蓮池 薫	ジャーナリスト 石川 結貴	
聴講者数	638人（区民600人）	93人（区民42人）	

<窓口対応職員研修>

泉区窓口サービス満足度調査結果（「全体的な印象」に対する「満足」及び「やや満足」の回答割合）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
計	98.0%	99.7%	中止（※）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

・税務申告窓口サービス向上

泉区民が確定申告を行う場合、通常は戸塚区吉田町にある戸塚税務署となるため、区民にとってアクセスが不便であることから、医療費控除確定申告については泉区役所で行う場合が多くなっています。このため、25年度から医療費控除確定申告については、税理士や補助者による申告書の受付・記載指導を実施しています。元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、件数こそ減少していますが、窓口における密集を回避できる程ではなく、税務署での申告受付体制によっては、今後増加に転じる可能性もあります。

また、今後の税理士の派遣について、税理士会の都合により派遣日数の削減等の懸念があるものの、税理士等の従事を前提とした受付体制を引き続き確保することにより、申告受付事務の効率化と来庁者の待ち時間の短縮を図ります。

<実績の推移>

27年度：721件、28年度：658件、29年度：618件、30年度：544件、元年度：393件

・区役所利用者のための一時託児

区庁舎1階に一時託児場所「ちょこっといずみ」を設置し、年間を通じて乳幼児を連れた区庁舎利用者への支援を行いました。

実績数値：H28 1,803人/243日、H29 1,708人/243日 H30 1,523人/244日 元年度 1,333人/240日

【実施内容】

・区庁舎等の環境整備

区庁舎内の老朽化し汚損が目立つカーペットの張替や特別清掃等を行います。また省エネルギー化のための設備改修(LED化)等を行います。

・戸籍課窓口サービス向上

インターネット上で番号の発券状況を公開するためのシステムを利用します。

・人権啓発講演会・窓口対応職員研修

<人権啓発講演会>

区民が興味・関心を持てる講師を招き、人権啓発講演会を行います。

<窓口対応職員研修>

区職員を対象に、応対スキル向上を目的とした実践的な研修を行います。

・税務申告窓口サービス向上

税理士等による医療費控除確定申告の受付・相談及び記載指導を実施することにより、来庁者の待ち時間の短縮を図るとともに、補助者による窓口の円滑な案内・誘導を行います。

・区役所利用者のための一時託児

一時託児場所「ちょこっといずみ」の業務委託を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 区庁舎等の環境整備	5,480	4,814	666	新型コロナウイルス対策による増
2 戸籍課窓口サービス向上	165	0	165	新規計上
3 人権啓発講演会 ・窓口対応職員研修	894	911	△ 17	積算見直しによる減
4 税務申告窓口サービス向上	706	831	△ 125	積算見直しによる減
5 区役所利用者一時託児	4,959	5,071	△ 112	前年度実績に伴う減
事業費合計	12,204	11,627	577	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	岡本 今日子	大河原 晶子	後藤 智由

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成18年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名	窓口案内ボランティア事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,106					1,106
前年度	1,126					1,126
増△減	△ 20	0	0	0	0	△ 20

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,193	1,179	1,154	予算	事業費	1,106	1,106
	メリット+一般財源	1,193	1,179	1,154		一般財源	1,106	1,106
決算	事業費	1,075	1,068	852	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月)			
決算	メリット+一般財源	1,075	1,068	852				

事業の概要(目的)	公募の区民ボランティアが区庁舎正面玄関で来庁者に挨拶や案内をすることにより、親しみやすい区役所をつくりたい。また、区民視点から窓口対応や行政サービスについてのご意見、ご提案を伺い、区役所の業務改善につなげていきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
 少子高齢化など社会状況や生活様式の変化に伴い、求められる行政サービスも多様化・複雑化しています。区役所窓口にな案内な来庁者、高齢者などお手伝いが必要な来庁者に対し、積極的な声掛けや案内が必要です。また、区民目線での率直なご意見、ご提案をいただくことで、窓口対応や行政サービスの質の向上を図っていくことが求められています。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係 令和2年度泉区運営方針「6 信頼される身近な区役所づくり」

3 根拠法令・要綱等 協働推進の基本方針、横浜市泉区窓口案内ボランティア要綱

【実績の推移・今後見込み】						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録者数	22	24	20	18	17	22
案内件数	28,118	23,848	24,738	21,388	10,000	20,000

【実施内容】
 (1) 内容
 区民ボランティアが、区庁舎正面玄関で来庁者への挨拶や用件に応じた適切な窓口の案内などを行います。また、活動を通じて気付いた点や窓口対応及び行政サービスの改善に向けた提案などを行います。
 (2) 実施方法
 窓口案内：平日の午前・午後の各2時間30分、2人1組でローテーションを組み活動します。
 定例会議：ボランティアと区職員による意見交換会(年間2回)を開催し、ご意見、ご提案を伺います。
 研修会：各種研修を実施します。
 ①新任研修(3月) 次年度新規活動者に対する新任研修(対応マナー、各課見学、各課業務紹介)
 ②業務研修(5月) 現活動者に対して、区役所各課の窓口業務や事業内容についての業務研修
 その他：任期満了ボランティアに対する「感謝会」などを開催します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
窓口案内ボランティア事業	1,106	1,126	△ 20	一部茶提供取止め等による減
事業費合計	1,106	1,126	△ 20	

【根拠とするデータ等】
 過年度案内・登録者数実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	河村 信之	河野 容子	吉崎 基弥

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	広報事業
-----	------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,162		406			1,756
前年度	1,638		436			1,202
増△減	524	0	△30	0	0	554

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	1,590	1,628	1,782
メリット+一般財源	1,214	418	1,310
決算 事業費	1,415	1,485	1,415
メリット+一般財源	978	436	1,005

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	2,162	2,162
一般財源	1,756	1,756

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)

事業の概要(目的)	区民の理解を深め、共感を得、行動につなげていくため、区が保有する各種広報媒体を効果的に活用し、泉区の行政情報や地域情報、生活情報、住み続けていただくための区の魅力を区民に的確に発信します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	一人ひとりの生活に応じた暮らしやすい地域社会の実現や、地域での支え合いのまちづくりを進めるとともに、区民が活発に交流していくためには、区民への的確な情報発信が必要です。 泉区での生活をより豊かなものとしていくためには、行政や施設の情報、防災情報、暮らしに役立つ情報などを効果的に発信していくことが必要です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係	令和2年度泉区運営方針「6 信頼される身近な区役所づくり」
-------------	-------------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市インターネット情報受発信ガイドライン、泉区ツイッター利用ルール
------------	------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】 [泉区ホームページ]		29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	
	アクセス件数	1,664,443	1,562,960	2,369,223	2,900,000	2,900,000	(件)
[生活・防災マップ]		29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	
	発行部数	9,000	11,000	11,000	11,000	11,000	(部)
[生活便利帳]		29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	
	発行部数	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	(部)

【実施内容】	
1 泉区ホームページ事業	区ホームページを通じて区政に関する情報を発信します。また、ホームページと連動したツイッターの活用を進めます。
2 泉区生活・防災マップ作成事業	区内の町区域や各種施設等を網羅した生活地図と地域防災拠点などの防災地図をまとめた「生活・防災マップ」を作成・発行します。
3 泉区生活便利帳作成事業	区民に必要な生活情報をまとめた「泉区生活便利帳」を改訂し発行します。
4 「住むなら泉区」情報発信事業	泉区の魅力向上のため戦略的に情報を発信すべく、広報よこはま泉区版の増ページ版の発行や、発信時期を考慮して他媒体にも記事を掲載します。
5 「いっずん」広報事業	泉区マスコットキャラクター「いっずん」を通じて、区民の区への愛着・親しみの向上、泉区のPRに寄与します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
泉区ホームページ事業	178	178	0	
泉区生活・防災マップ作成事業	403	620	△217	印刷・デザイン費の減
泉区生活便利帳作成事業	447	450	△3	
「住むなら泉区」情報発信事業	1,044	0	1,044	新規
「いっずん」広報事業	90	30	60	元年度実績に基づく増
【終了】子ども向け広報事業	0	360	△360	事業終了
事業費合計	2,162	1,638	524	

【根拠とするデータ等】
過年度発行部数・アクセス数など、泉区人口・転入者数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	河村 信之	河野 容子	高木 康行

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成10年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	区民相談事業
-----	--------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,290					1,290
前年度	1,274					1,274
増△減	16	0	0	0	0	16

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,287	1,287	1,298
メリット+一般財源	1,287	1,287	1,298
決 算 事業費	1,211	1,263	1,256
メリット+一般財源	1,211	1,263	1,256

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,290	1,290
一般財源	1,290	1,290

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年 月)
 無

事業の概要(目的)	泉区内に居住する日本語による意思疎通が困難な外国籍等区民の生活を支援するため、生活相談や翻訳を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	泉区内には多くの外国籍等区民が居住している地域があり、言語や生活習慣の違いから意思疎通や相互理解に問題が生じないよう支援する必要があります。																														
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等																														
2 運営方針等との関係	令和2年度泉区運営方針「6 信頼される身近な区役所づくり」																														
3 根拠法令・要綱等	横浜市泉区外国籍等区民相談事業実施要綱																														
【実績の推移・今後見込み】	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度実績</th> <th>2年度見込み</th> <th>3年度見込み</th> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>720</td> <td>713</td> <td>809</td> <td>837</td> <td>620</td> <td>840</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語等</td> <td>728</td> <td>967</td> <td>988</td> <td>1,021</td> <td>750</td> <td>1,020</td> </tr> </table>		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	中国語	720	713	809	837	620	840	ベトナム語等	728	967	988	1,021	750	1,020									
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み																									
中国語	720	713	809	837	620	840																									
ベトナム語等	728	967	988	1,021	750	1,020																									
【実施内容】	日本語による意思疎通が困難な外国籍等区民を対象に、中国語相談(毎週木曜日)、ベトナム語等相談(毎週金曜日)を実施します。また、区政・地域情報等の外国語ちらしや各課が作成する通知文書等の原稿を翻訳します。																														
【事業費の内訳】	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>泉区外国籍等区民相談事業</td> <td>1,290</td> <td>1,274</td> <td>16</td> <td>暦による回数増</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>1,290</td> <td>1,274</td> <td>16</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	泉区外国籍等区民相談事業	1,290	1,274	16	暦による回数増																事業費合計	1,290	1,274	16	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																											
泉区外国籍等区民相談事業	1,290	1,274	16	暦による回数増																											
事業費合計	1,290	1,274	16																												
【根拠とするデータ等】	過年度相談実績、泉区外国人人口																														

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 河村 信之	係長 河野 容子	広報相談 係 高木 康行
--------------------	-------------	-------------	-----------------

[泉 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成29年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	地域力支援事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1, 2

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			
		国・県	諸収入		一般財源
本年度	6,588	0	0		6,588
前年度	8,106	0	0		8,106
増△減	△ 1,518	0	0		△ 1,518

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	4,192	3,092	5,540
メリット+一般財源	4,192	3,092	5,540
決算 事業費	4,831	3,587	4,968
メリット+一般財源	4,831	3,587	4,968

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	6,588	6,588
一般財源	6,588	6,588

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
(無)

事業の概要 (目的)	持続可能な地域活動が行われるよう、活動の基盤となる自治会・町内会の役員や各種委嘱委員等の地域住民の支援に取り組むとともに、担い手不足の解消に向けた、現役世代を含めた幅広い方々の地域活動への参画を推進します。また、地域での多様な課題の解決に取り組む泉区地域協議会や地区経営委員会等の運営を支援するとともに、地域支援に携わる職員の育成を実施します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

泉区は地域活動が活発に行われ、自治会・町内会や各種委嘱委員を始めとした多様な活動により、地域の課題解決や安全安心、見守りなどの取組が進められ、良好な生活環境の形成につながっています。しかし、若年層を中心とした地域活動の担い手となることへ負担を感じる世代が増えており、その負担を権限するため、現在行われている地域活動を持続させていくための支援や、地域の課題解決に向けた取組に対する支援など、区と地域が連携して取り組んでいく必要があります。

1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 4 地区懇談会

2 運営方針等との関係

令和2年度泉区運営方針
II 目標達成に向けた施策 2 地域活動の広がるまちづくり

3 根拠法令・要綱等

泉区地域協議会運営要綱、泉区地域運営補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

・地区経営委員会支援 (金額：地区数)

名称	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
地域運営補助金	450	550	550	600	550	600	600
地区数	9	11	11	12	11	12	12

・地域協議会開催状況 (回数)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
定例会	4	4	4	4	4	4	4
部会	11	11	8	8	5	3	6

【実施内容】

- ・泉区地域協議会運営支援 (区の事業及び地域に関わる区の施策についての議論や地域の課題解決に向けた情報交換等)
- ・新しい地域活動、社会参加の在り方の企画・情報発信等
- ・地域活動継続のための取組支援 (地域活動事例紹介、委嘱委員ホームページ維持管理等)
- ・地域の課題解決に向けたコーディネーター派遣
- ・地区経営委員会運営支援 (各地区経営委員会への参加や地域運営補助金活用支援)
- ・補助金申請手続き相談対応
- ・地域支援担当職員育成 (地域分析を活用した職員研修等)
- ・地域力支援事務費

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
泉区地域協議会運営支援	570	626	△ 56	地域力支援事務費へ移管
新しい地域活動、社会参加の在り方の企画・情報発信等	2,920	3,814	△ 894	実施内容の見直しによる減
地域活動継続のための取組支援	1,000	260	740	各細目事業から移管
地域活動コーディネーター派遣	768	0	768	各細目事業から移管
地区経営委員会活動費用助成	600	2,406	△ 1,806	地域活動コーディネーター派遣等へ移管
地域支援担当職員育成	100	100	0	
地域力支援事務費	630	0	630	各細目事業から移管
委嘱委員等ホームページの管理	0	300	△ 300	地域活動継続のための取組支援へ移管
地域の居場所開設・運営支援	0	200	△ 200	地域活動コーディネーター派遣へ移管
地域活動の事例紹介	0	200	△ 200	地域力支援事務費へ移管
地域活性化のための支援	0	200	△ 200	泉区地域協議会運営支援等へ移管
事業費合計	6,588	8,106	△ 1,518	

【根拠とするデータ等】

令和元年度泉区区民意識調査、平成29年度泉区地域分析

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	栗竹 史明 斎藤 昌代	立川 日出子 鈴 大佑	渡部 祐太 小林 裕一

(泉 区 - 5)

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和3年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域を支えるICT活用推進事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	2,900	0	0		2,900
前年度	0	0	0		0
増△減	2,900	0	0		2,900

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算			
事業費			
メリット+一般財源			
決算			
事業費			
メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予算		
事業費	2,900	2,900
一般財源	2,900	2,900

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動団体の会合や催事の実施が困難な状況が続き、地域の交流が減少しています。そのため、新しい生活様式を取り入れ、今後も継続的な活動ができるように、地域や事業者を支えるICTを効率的に活用した事業の推進が求められています。そこで、これまで培ってきた地域の絆を維持することに加え、ICTの知識に明るい地域の若い世代が地域活動へ参画するきっかけとして、地域及び事業者向けにWeb会議等のICT活用を支援します。また、区役所が発信拠点の機能を果たすための環境を整備し、ICTの活用を推進していきます。</p>
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

新型コロナウイルス感染症の拡大により、泉区内地域活動団体の会合や各行事が中止や縮小開催となっています。そのため、高齢者をはじめ地域の方々が他者と交流する機会が減少しているほか、三密を回避するため、区役所と各団体間での顔を合わせた意見交換や相談等への対応が困難になっています。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、web会議等のオンライン活用を検討する地域団体等があることも踏まえ、従来の対面中心だけでなく新たな方法を取り入れることが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会
-------------	------------	----------	---------

2 運営方針等との関係

令和2年度泉区運営方針
II 目標達成に向けた施策 2 地域活動の広がるまちづくり 4 健康と福祉のまちづくり

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

・地域活動ICT環境整備助成 (団体数：金額)

年度	R3	R4	R5
団体数	4	-	-
金額	600	-	-

・各種ICT活用講座 (回数)

年度	R3	R4	R5
回数	20	-	-
参加数	300	-	-

【実施内容】

■地域向け支援

- 地域活動ICT環境整備助成事業
地域活動団体が主体となって取り組むICT機器整備や活用講座開催等経費に対する助成制度を創設します。
- 講座開催・開催支援
ICTを活用した地域活動を行うための区民向け講座を実施します。
また、新たな生活様式における高齢者と若者世代のつながりを醸成するために、高齢者サロン等にむけてスマートフォン講座の開催を支援します。

■事業者向け支援

- 医療・介護関係者等に向けた多職種のための情報連携支援事業
医療・介護関係者など多職種の専門職によるWeb会議や講演会等の開催や参加を促進するため、事業所に対し、ICT活用講座の開催やICT関係の専門家を派遣するなど、ICT環境の導入に向けた支援を行います。

■区役所環境整備

- 区役所Web会議支援システム運営
区役所でWeb会議等のICT活用を継続して行うために必要な機器やライセンスを取得します。
- ICT活用にかかる区役所職員育成
区職員向けにWeb会議の利用方法等のICT活用にかかる研修を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
■ 地域向け支援				
地域活動ICT環境整備助成事業	600	0	600	新規
講座開催・開催支援	1,650	0	1,650	新規
■ 事業者向け支援				
多職種のための情報連携事業	250	0	250	新規
■ 区役所環境整備				
区役所Web会議支援システム運営	300	0	300	新規
ICT活用にかかる区役所職員育成	100	0	100	新規
事業費合計	2,900	0	2,900	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	岡本 今日子 粟竹 史明 斎藤 昌代 塗師 浩美	大河原 晶子 立川 日出子 鈴木 大佑 井田 理世 志澤 淳	渡部 祐太 小林 裕一 荒井 琢夢

(泉 区 - 6)

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 農を生かしたまちづくり事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 13 3, 4, 5	事業評価 書番号
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業 ○		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,109		18			1,091
前年度	524		18			506
増△減	585	0	0	0	0	585

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,218	1,158	1,084	予	事業費	1,110	1,110
	メリット+一般財源	1,160	1,103	1,026	算	一般財源	1,090	1,090
決算	事業費	1,157	1,037	920	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,122	1,002	870	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	泉区の地域資源である農について、区民が理解を深め、活動に関わっていくための取組を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

泉区は、経営耕地面積が市内第1位、農家数が市内第3位であり、農が貴重な地域資源となっていることから、積極的に農の魅力発信をする必要がある。また、年々経営耕地面積は減少しており、農家の高齢化や担い手不足が課題となっているため、農業振興及び農地保全の観点から、区民による援農ボランティアの活動支援や地産地消の推進をしていく必要がある。

「農」の視点に加えて、身近にある自然環境やレジャー環境を含めた、泉区ならではの地域資源を一体的な魅力として発信し、体験する機会を提案していく必要がある。

地域の課題等の収集手段

1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係

令和2年度泉区運営方針 1 魅力ある泉区づくり

3 根拠法令・要綱等

横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

泉区農業応援隊派遣実績(延人数)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み
	2,450	2,991	3,142	2,764	3,000	3,000
区内のよこはま地産地消サポート店	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み
	10件	10件	11件	10件	20件	25件

【実施内容】

1 農産物を生かしたまちづくり事業

(1) 農に関する情報発信及び活動の促進

農に関わる機会を増やすため、区内農家や地産地消に関する活動についての情報を発信し、支援します。また、区民ニーズの高い区内の直売所や、よこはま地産地消サポート店の情報を更新し、ウェブページ上へ反映します。

2 農の活動推進事業

(1) 援農団体への支援

援農団体の活動支援をすることで、高齢化や担い手不足に悩む農家の支援につなげます。継続的な活動を実現するため、活動に係る周知・広報を支援します。

(2) 体験講座

区民を対象にした農作業体験講座など、泉区の農をはじめとした地域資源を身近に感じられる体験型の企画を実施し住むまちへの関心・愛着の醸成につなげます。参加者募集の際は様々な世代の区民の方々に参加してもらえるように広報を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
農産物を生かしたまちづくり事業	885	265	620	コンテンツ拡充による増
農の活動推進事業	224	259	△ 35	前年度実績による減
事業費合計	1,109	524	585	

【根拠とするデータ等】

農林業センサス、横浜の緑に関する土地所有者意識調査、泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	河村 信之	小宅 将之	伊藤 真子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	脱温暖化行動啓発事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
2	10

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	673					673
前年度	673					673
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	673	673	673
メリット+一般財源	673	673	673
決 算 事業費	484	624	441
メリット+一般財源	484	624	441

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	673	673
一般財源	673	673

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	身近な脱温暖化行動に対する区民の理解を深め、実践してもらうことを目的に、家庭で取り組める省エネ行動等の啓発や緑のカーテンづくりを推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	脱温暖化の取組を進めていくためには、区民一人ひとりが環境行動の重要性を理解し、実践することが大切です。そこで、身近な省エネ行動等の啓発や、緑のカーテンなど楽しみながら身近な場所で取り組める行動の推進を通じて、多世代の主体的な環境行動の実践につなげていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	令和2年度泉区運営方針 ②地域活動の広がるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	-

【実績の推移・今後見込み】				
	H30実績	R元実績	R2見込み	R3見込み
省エネ行動等啓発	啓発パンフレット作成・イベント実施	啓発パンフレット活用・イベント実施	啓発パンフレット改訂・イベント実施	啓発パンフレット活用・イベント実施
緑のカーテン	種配布(3,000袋) 写真展実施	種配布(3,000袋) 写真の募集・発信キャンペーン	種配布(3,000袋) 啓発キャンペーン	種配布(1000袋) 啓発キャンペーン

【実施内容】

1 省エネ行動等啓発事業
身近な省エネ行動等を啓発します。
・家庭で取り組める省エネ行動等について、区民の認知度・関心を高めることを目的とした広報実施(広告等)
・子どもたちが身近な問題として、ごみ問題(3R夢プラン)や緑地保全(みどりアップ計画)と一体的に地球温暖化について理解を深められるよう、啓発リーフレット「泉区版環境読本(改訂版)」を活用
・啓発イベント等への出展(神明台ほか)

2 緑のカーテン普及事業
地球温暖化やヒートアイランド現象の抑止に向け、各家庭や小学校等で、こどもから大人まで楽しみながら実践できる緑のカーテンづくりの推進に取り組みます。
・緑のカーテン用種の配布:1,000袋(1袋5~10粒程度)
・取組支援(物品貸出、キャンペーン等)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
省エネ行動等啓発事業	160	140	20	啓発実施手法の見直しによる増
緑のカーテン普及事業	513	533	△20	実績にもとづく減
事業費合計	673	673	0	

【根拠とするデータ等】
農林業センサス、横浜の緑に関する土地所有者意識調査、泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 河村 信之	係長 小宅 将之	係 中村 繁世
--------------------	-------------	-------------	------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成29年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 定住転入促進事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書番号
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	政策番号 主な施策番号	事業評価書番号 事業評価書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	5,950	0	0		5,950
前年度	5,930				5,930
増△減	20	0	0		20

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	900	1,090	4,615	予算	事業費	5,950	5,950
	メリット+一般財源	900	1,090	4,615		一般財源	5,950	5,950
決算	事業費	897	2,783	4,000	方針に関する決裁 種別() 有:件名(泉区シティセールスプロモーションの方針について)、日付(30年9月)			
	メリット+一般財源	897	2,783	4,000				

事業の概要(目的)	若い世代をはじめとする泉区内外の多くの人に「住みたい」「住み続けたい」と感じてもらう為、居住地として選ばれる魅力づくりを進めるとともに、泉区の暮らしやすさを継続的に情報発信します。
-----------	--

(説明)																								
1 地域の課題等	<p>少子高齢化時代において、地域コミュニティの維持や新たな地域の担い手確保などの為には、20歳代から30歳代前半の若い世代を含めた多世代の定住を図ることが課題となっています。横浜市人口は増加傾向が続いているのに対して、泉区人口は平成23年度以降減少が続いており、平成26年度に泉区が実施した区民意識調査では、20歳代から30歳代前半の若い世代に区外への転出意向が高い傾向がありました。</p> <p>泉区への定住転入を促進するためには、豊かな自然環境や農、伝統文化などの泉区ならではの魅力を活用して、泉区に対する関心と交流人口の増加を図るとともに、区民の愛着心を高める取組が不可欠です。また、泉区の居住環境や住まい方等の魅力を紹介する事により、住まい選びの選択肢となることをアピールするシティセールスが必要となっています。</p>																							
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会	8 その他																				
2 運営方針等との関係	令和2年度泉区運営方針 1 魅力ある泉区づくり																							
3 根拠法令・要綱等	-																							
【実績の推移・今後見込み】																								
H26年：泉区区民意識調査 H27年：泉区地域協議会において『居住地として選ばれる泉区となるために』の検討 H28年：事業の進め方を検討 H29年：居住地として選ばれる要因の分析、情報発信する手法の検討 H30年：ウェブサイトによる情報発信、Instagram等HP以外の発信手法を模索・試行、区内事業者等との情報発信連携 R1年：シティセールスのプロモーション推進、情報発信（ウェブサイトやInstagram、広告等を活用した情報発信・拡散）、魅力向上の取組（動画制作等によるコンテンツ拡充） R2年：シティセールスのプロモーション推進（整備した情報発信ツールや広告媒体等を活用）、魅力向上と創出（庁内外連携によるコンテンツ拡充） R3年：シティセールスプロモーション推進、魅力向上（記事制作等の新規コンテンツ）																								
【実施内容】																								
《情報発信》 ・情報発信（WEBサイトやInstagramアカウント等運営） ・ウェブサイトへの誘導、サイト内回遊性を向上（広告、Instagram等SNS、紙媒体） 《魅力向上・魅力創出》 ・シティセールスのプロモーション推進 ・調査（居住地としての需給状況、選ばれる要因、ターゲット分析） ・定住転入促進サイトコンテンツ拡充（追加ページ制作、動画制作） ・区民参加による魅力創出と発信（魅力収集取材・記事制作等） ・区内民間事業者や区民活動等との連携促進																								
【事業費の内訳】																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信</td> <td>3,734</td> <td>4,000</td> <td>△ 266</td> <td>発信手法の見直し</td> </tr> <tr> <td>魅力向上・魅力創出</td> <td>2,216</td> <td>1,930</td> <td>286</td> <td>新規コンテンツ</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>5,950</td> <td>5,930</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	情報発信	3,734	4,000	△ 266	発信手法の見直し	魅力向上・魅力創出	2,216	1,930	286	新規コンテンツ	事業費合計	5,950	5,930	20	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																				
情報発信	3,734	4,000	△ 266	発信手法の見直し																				
魅力向上・魅力創出	2,216	1,930	286	新規コンテンツ																				
事業費合計	5,950	5,930	20																					
【根拠とするデータ等】																								
泉区区民意識調査、横浜市人口動態、横浜市将来人口推計、市外転出者意識調査																								

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	河村 信之	小宅 将之	中村 繁世

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成23年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商店街振興支援事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,462	0	0			1,462
前年度	1,462	0	0			1,462
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	632	634	1,462
メリット+一般財源	632	634	1,462
決 算 事業費	581	912	1,351
メリット+一般財源	581	912	1,351

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,462	1,462
一般財源	1,462	1,462

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	泉区商店街連合会及び各商店会と連携し、商店街の振興や賑わいづくりを支援し魅力を発信するとともに、商店街を含めた地域の活性化を推進する。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	泉区商店街連合会は、現在8商店会から構成されており、まちの賑わいや地域経済の維持・発展に向けて取り組んでいますが、大型店舗の進出等による売上の低迷や、後継者不足などにより、商店街の活気が失われつつあります。また、商店街は駅などの公共交通拠点から住宅地周辺に向けて広く立地していることから、地域防犯や地域コミュニティの拠点としての役割が期待されています。
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望 1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 1 魅力ある泉区づくり
3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例、横浜市泉区商店街活性化イベント助成事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
区商連加盟商店会数	8	8	8	8	8
加盟店舗数	238	227	212	219	219

【実施内容】

商店街振興・賑わいづくり事業

- ・区商店街連合会及び商店会の活性化に向けた情報交換や商店街イベントへの支援
- ・横浜市泉区商店街活性化イベント助成事業補助金の交付
- ・区内商店街が一体となった賑わいづくりのためフラッグ等啓発物品の作成
- ・商店街を知ってもらい、身近に感じてもらうためのガイド作成
- ・賑わいづくりと商店街活性化による期間限定イベントとして、協力店舗がいつでもカレーを一斉販売するための支援を実施します。
- ・商店街ガイドホームページの更新(通年)
- ・商店街イベント等で商店街の魅力や地域活動をパネル等で紹介

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街振興・賑わいづくり事業	1,462	1,342	120	事業の統合による増
商店街情報発信支援事業	0	120	△120	事業の統合による減
事業費合計	1,462	1,462	0	

【根拠とするデータ等】

泉区商店街連合会加入商店会数・店舗数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小澤 義則	屋代 正男	本間 文葉

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成28年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
深谷通信所跡地等活用事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,337					5,337
前年度	6,019					6,019
増△減	△ 682	0	0	0	0	△ 682

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	3,881	4,864	6,884
メリット+一般財源	3,881	4,864	6,884
決 算 事業費	4,114	4,951	6,808
メリット+一般財源	4,114	4,951	6,808

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	5,608	5,608
一般財源	5,608	5,608

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	米軍から返還された深谷通信所跡地において、区民が利用できる区域を開放します。また、跡地利用等に関して、地域の意見・要望の調整等を行います。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 米軍から返還された深谷通信所跡地について、本格利用まで長期に渡ることから、それまでの間暫定利用を行い、返還を実感していただくことが必要です。 跡地利用、暫定利用、現地管理等について、地元意向の反映や情報提供を行う必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	6 区民要望	7 関係団体からの要望		
-------------	--------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度 泉区運営方針 「1 魅力ある泉区づくり」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	-
------------	---

【実績の推移・今後見込み】
平成18年6月 「米軍施設返還跡地利用指針」策定
平成22年10月 泉区深谷通信所返還対策協議会（以下「協議会」という）設立
平成24年8月 協議会が深谷通信所跡地利用に関する泉区区民意見を募集
平成25年3月 協議会「深谷通信所跡地利用計画案」をとりまとめ
平成26年6月末 深谷通信所返還
平成26年9月 「旧深谷通信所跡地利用基本計画の考え方」公表
平成30年2月 「深谷通信所跡地利用基本計画」策定
令和3年度 都市計画決定（予定）

【実施内容】
1 広場等管理運営
○深谷通信所跡地内の一部区域を区民が利用できる広場として開放し、定期的な草刈等を実施するとともに、点検・清掃等の日常的な管理運営を地域団体とともに実施します。
○広場活用のPRや地域活用の活性化に向けた環境整備（トイレ等既存施設の維持管理等）
2 協議会の運営支援
跡地利用等に関する協議、情報提供、地域の意見・要望の調整等を行う協議会の運営を支援します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広場等管理運営	5,073	5,887	△ 814	前年度設備設置等による減
協議会の運営支援	264	132	132	開催回数増加による増
事業費合計	5,337	6,019	△ 682	

【根拠とするデータ等】
深谷通信所跡地利用基本計画

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	河村 信之	稲垣 伸人	荒俣 桂子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園 水・緑環境保全	事業開始年度	平成19年度
------	---------	---------	--------------------	--------	--------

事業名	水・緑・みち魅力づくり支援事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	3

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,992	0	5			1,987
前年度	2,172	0	8			2,164
増△減	△ 180	0	△ 3	0	0	△ 177

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	1,392	1,462	2,202
メリット+一般財源	1,384	1,454	2,194
決算 事業費	1,351	1,431	1,665
メリット+一般財源	1,344	1,423	1,662

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,992	1,992
一般財源	1,987	1,987
方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無		

事業の概要(目的)	泉区の歴史と文化を育んできた河川や緑環境を地域団体などと連携して地域資源として活用することにより、泉区の自然環境の特性に対応した魅力づくりを進めていきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

河川などの水辺や樹林地などの水・緑環境は、泉区の貴重な地域資源です。横浜市統計によると平成4年に45.9%であった緑被率が平成26年には28.8%にまで減少しています。区民が泉区らしさを感じられる水・緑環境はますます貴重なものになってきています。

「泉区らしい水・緑環境」や「地域にとって欠かせない水・緑環境」を残していくためには、行政だけではなく、区民・地域、地権者との連携した取り組みが必要です。泉区や地域にとって大切な水・緑環境の保全に取り組む区民を増やし、その受け皿となる団体が継続して活動に取り組めるよう、必要な支援が求められています。

併せて、担い手不足が課題となっている道路・公園・水辺における愛護会等の活動が維持・継続できるよう支援を強化し、地域活動を主体とした河川や駅前広場などの魅力づくりを支援します。

地域の課題等の収集手段	6 区民要望	7 関係団体からの要望		
-------------	--------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係

令和2年度 泉区運営方針 2 地域活動の広がるまちづくり

3 根拠法令・要綱等

河川法、道路法、ハマロード・サポーター実施要綱、泉区民の緑環境を守る活動補助金交付要綱、泉区の花「あやめ」普及促進活動支援要綱、横浜市公共施設・公有地での緑の管理事業事務取扱要領

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
《魅力づくり支援》	植樹3か所、花苗等4か所、ホタルの為の環境整備	植樹3か所、花苗等4か所、ホタルの育成	花苗等4か所、ホタルの育成	花苗等4か所、ホタルの育成	花苗等3か所、ホタルの育成
《愛護会活動支援》	ペットボトル1,680本	ペットボトル1,680本	ペットボトル3,048本、視察会	ペットボトル6,432本	ペットボトル3,192本
《緑環境保全》					
緑環境補助金交付	3 団体	3 団体	2 団体	2 団体	2 団体
あやめ普及促進補助金交付	2 団体	2 団体	2 団体	1 団体	1 団体
公共施設・公有地での緑の管理	1 地区	1 地区	1 地区	1 地区	1 地区

【実施内容】

1 魅力づくり支援 450千円

- ・ 和泉川流域において、地域住民と協働で、菜の花の播種、花苗の植付等を実施する。
- ・ 村岡川流域において、地域及び中田中央公園指定管理者との協働で、水辺環境を整備し、ホタルの放流育成を実施する。
- ・ 立場駅前の交通広場について、地域と協働で、花苗の植付を実施する。

2 愛護会活動支援 1,050千円

① 活動支援の拡充

- ・ 愛護会活動にかかる技術指導等（刈払機講習、花壇づくりほか）を充実させるため、活動団体の要望に応じて、講師派遣・講習会を実施します。
- ・ 草刈などの活動を支援するための刈払機等の機材の貸与を行います。
- ・ 夏季の活動支援のためのペットボトル飲料支給します。（ハマサポ・公園・水辺愛護会）

② 新たな担い手づくり

- ・ 幼稚園・保育園・小学校・高齢者施設などを対象に花壇づくりや活動への参加を促し、愛護会と地域の新たな連携を促進します。
- ・ 活動者のモチベーションや活動の知名度向上を目的に、ハマロード・公園・水辺愛護会合同交流会や土木事務所による功労者表彰を実施します。

3 緑環境保全 492千円

緑環境を守る団体とあやめの普及促進活動を行う団体を支援し、活動団体を増やすための取組を行います。
また、区の花の認知度を上げるための取組として、啓発活動を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
魅力づくり支援事業	450	450	0	
愛護会活動支援	1,050	1,250	△ 200	備品購入年度前倒しによる減
緑環境保全事業	492	452	40	普及方法の変更による増
公共施設・公有地での緑の管理	0	20	△ 20	細目事業の廃止による減
事業費合計	1,992	2,172	△ 180	

【根拠とするデータ等】

横浜の緑に関する市民意識調査、泉区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	下水道・公園 企画調整係
	洞澤 実 河村 信之	増子 学 小宅 将之	松永 崇 三宅 菜穂

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	泉区民ふれあいまつり支援事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	33
主な施策番号	1

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,000	0	0			3,000
前年度	1,700	0	0			1,700
増△減	1,300	0	0	0	0	1,300

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,700	1,700	1,700
メリット+一般財源	1,700	1,700	1,700
決 算 事業費	1,700	1,700	1,676
メリット+一般財源	1,700	1,700	1,676

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	3,000	3,000
一般財源	3,000	3,000

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	泉区民ふれあいまつりの開催を支援し、行政や区民団体の活動PRの場を設け、区民とのふれあいと泉区の魅力の再発見と、ふるさと意識の高揚を図り、地域の連帯感を強め、行政と区民が協働する魅力的な街づくりを目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化、核家族化の進行を背景に、地域の担い手不足やそれに伴った地域活動の低下が懸念されているため、地域への愛着心を高め、コミュニティの活性化を図る必要があります。 ・ 多くの区民が泉区に住み続けたいと思うようなふるさと意識を高める必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	泉区運営方針 1 魅力ある泉区づくり
-------------	--------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度見込み
来場者数	30,000人	30,000人	35,000人	30,000人	中止	30,000人

【実施内容】

区民等により組織された実行委員会に補助金を交付します。

- 1 主催 泉区民ふれあいまつり実行委員会(仮)
- 2 開催予定日 令和3年11月上旬
- 3 開催予定場所 和泉川遊水地

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地区連合主催行事支援事業	0	1,200	△ 1,200	補助金廃止に伴う減
2 泉区ふれあいまつり支援事業	3,000	500	2,500	委託範囲の増による
事業費合計	3,000	1,700	1,300	

【根拠とするデータ等】

泉区民ふれあいまつり 事業完了報告書・事業決算書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小澤 義則	係長 中島 剛	係 杉原 将
--------------------	-------------	------------	-----------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 自治会町内会振興事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 33 1	事業評価 書番号	事業評価 書番号
	中期計画-行政運営					
	重点事業					
	新規・拡充					
	温暖化対策関連事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,449	0	0			2,449
前年度	2,449	0	0			2,449
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,427	2,327	2,449	予算	事業費	2,449	2,449
	メリット+一般財源	2,427	2,327	2,449		一般財源	2,449	2,449
決算	事業費	2,416	1,972	1,454	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,416	1,972	1,454	有:件名()、日付(年月日)			
(無)								

事業の概要(目的)	市及び区からの自治会町内会への情報提供や連絡等にかかる調整を行うことにより、地域と行政の円滑な連携を図っていきます。また、掲示板やホームページなどの地域情報の発信を支援します。
-----------	--

(説明)						
1 地域の課題等						
「自治会・町内会」は、各地域の中核をなす組織であり、本市における「協働」の重要なパートナーでもあることから、「自治会・町内会」の地域コミュニティをサポートする必要があります。区としては、行政が自治会町内会に依頼する業務内容を検討し、負担を軽減するよう努めていきます。また、行政の広報や地域の情報の伝達手段として重要な役割を担う掲示板の老朽化による建替えや修繕や自治会町内会のホームページの充実についても、引き続き支援を行っていきます。						
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望			
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 2 地域活動の広がるまちづくり					
3 根拠法令・要綱等	泉区連合自治会・町内会長永年在職者表彰要綱 泉区自治会町内会広報掲示板整備補助金交付要綱					
【実績の推移・今後見込み】						
自治会町内会交流推進事業実績						
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度見込み
自治会町内会長永年在職表彰者数	19	11	12	18	16	16
感謝会出席者数	96	89	87	90	0	100
連合自治会町内会役員永年在職表彰者数	54	62	50	43	23	71
掲示板補助、ホームページ作成支援事業実績						
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度見込み
自治会町内会掲示板整備補助事業(整備基数)	20	12	11	11	12(見込)	20
自治会町内会ホームページ作成支援事業(作成数)	38	41	46	48	48	60
【実施内容】						
1 自治会町内会交流推進事業						
(1) 自治会町内会情報連絡業務 掲示物や回覧物などの行政情報等を自治会・町内会へ送付します。						
(2) 自治会町内会長感謝会(自治会町内会長永年在職者表彰) 住民組織の代表として、日頃より様々な形で区政の推進に尽力いただいた永年在職者を表彰するとともに、自治会町内会長の日々の活動への敬意と感謝の意を表すため、感謝会を開催します。						
(3) 連合自治会町内会役員永年在職者表彰 自治会町内会役員を継続して5年間就任された方を表彰します。						
2 自治会町内会掲示板整備補助事業 行政や地域からの広報がより着実に、多くの地域住民に行われ、PR効果を高めるため、自治会町内会で維持管理している掲示板の整備について支援します。※補助額：補助対象経費の1/2(1基あたり30,000円を上限)						
3 自治会町内会ホームページ作成支援事業 ホームページを作成するにあたって、発生する諸問題について適宜支援を行います。						
【事業費の内訳】						
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明		
自治会町内会交流推進事業	2,099	2,099	0			
自治会町内会掲示板整備補助事業	300	300	0			
自治会町内会ホームページ作成支援事業	50	50	0			
事業費合計	2,449	2,449	0			
【根拠とするデータ等】						
自治会町内会団体数・加入世帯数・加入率一覧(令和2年4月1日時点)						

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小澤 義則	屋代 正男	

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成21年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	区民活動支援センター事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	33
主な施策番号	2

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	643	0	0			643
前年度	643	0	0			643
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	452	452	586
メリット+一般財源	452	452	586
決 算 事業費	921	424	560
メリット+一般財源	921	424	560

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	643	643
一般財源	643	643

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年 月)
 無

事業の概要 (目的)	<p>1 自治会・町内会活動や地域活動、生涯学習に関する情報の提供及び相談を行うとともに、自己のライフスタイルを楽しみながら心豊かに暮らせるまちの実現を図るため、多様な人材や団体の担い手につなげる支援及びコミュニティへの参画のきっかけづくりを行います。</p> <p>2 中間支援組織として地域の課題解決に取り組む団体及び個人の活動を支援します。</p>
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 自らの持つ経験、知識、スキルなどを活かして社会貢献をしたい、また自治会・町内会などの地域活動への参加の意欲を持つ区民などへの支援が求められています。</p> <p>2 生涯学習活動や地域活動というテーマ型コミュニティをはじめ、様々な活動を行う団体・個人、活動意欲のある個人、活動の活性化を検討している施設等に対して、「区民のつながり」を創る中間支援の役割機能が期待されています。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 2 地域活動の広がるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	横浜市生涯学習推進指針 横浜市市民協働条例 市民活動支援センター事業展開ガイドライン いずみ区民活動支援センター事業要綱

【実績の推移・今後見込み】					
相談件数					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
相談件数	634件	585件	592件	600件	600件

【実施内容】

いずみ区民活動支援センターにおいて、自治会・町内会活動や地域活動、生涯学習に関する情報提供及び相談、多様な地域人材の発掘・活用や地域活動を行う個人・団体への活動支援などを図ることにより、区民の活動を支援します。

- 区民活動支援センター運営事業
 - ・区民活動に関する相談業務を実施します。(通年)
 - ・学習機材等を貸出します。(通年)
 - ・区民ギャラリーの管理、運営をします。(通年)
 - ・区民活動支援センターの各事業の広報のため、いずみ区民活動支援センター情報誌「センターだより」を発行します(年3回、5,000部/回)
 - ・区民活動団体の広報を支援するため、区役所や泉区民ふれあいまつり等で展示会等を開催し、活動内容を紹介します(年2回)
 - ・区内の区民利用施設(地区センター(4箇所)、コミュニティハウス(8箇所)、地域ケアプラザ(6箇所))の自主企画事業担当者等のネットワーク会議を実施し、事例や課題等の情報共有を行います。(年1回)

【参考】以下の事業については「元気な地域づくり推進事業」において実施します。

- 1 人財バンク事業
 - (1) 地域の力を地域の活性化、発展につなげるため「人財バンク」冊子を発行し、ホームページで公開するとともに、年間を通じて更新作業を実施します。(通年)
 - (2) 人財バンク登録団体の活動場所に訪問し、取材をまとめた「訪問記」を発行します(通年)
- 2 活動団体支援事業
 - (1) 自治会町内会、区民活動団体等のスキルアップを支援するため、コミュニケーション力や情報発信力、資金調

- 達などの講座を実施します。(年3回)
- (2) 自治会町内会やテーマ型の活動団体が、団体の活動を持続的に展開し広げる取組を支援するための講座を開催するとともに、マッチング支援を実施します。(年2回)
- 3 きっかけづくり事業
- (1) 自治会・町内会活動などの地域活動をはじめ、区民が区の魅力等に関する生涯学習を始める機会の提供に向けた講座等を実施します。(年2回)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民活動支援センター運営事業	643	643	0	
事業費合計	643	643	0	

【根拠とするデータ等】

講座等のアンケート(通年)、窓口での相談実績(通年)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	栗竹 史明	古川 博映	中村 恵美子

[泉 区 地域振興
こども家庭支援 課]

予算区分	地域コミュニティ費 地域コミュニティ費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区分	地域コミュニティ 国際交流 子育て支援	事業開始年度	平成13年度
------	--	-------------	---------------------------	--------	--------

事業名	多文化共生推進事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
4	5

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,608	0	0			2,608
前年度	2,747	0	36			2,711
増△減	△ 139	0	△ 36	0	0	△ 103

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,381	2,412	2,412	予 算	事業費	2,883	2,883
	メリット+一般財源	2,552	2,376	2,376		一般財源	2,883	2,883
決算	事業費	2,508	2,364	2,084	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	2,475	2,331	2,066				

事業の概要 (目的)	外国籍等区民に対する支援等を通じて、多文化共生のまちづくりを実現します。
---------------	--------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 外国籍等区民に対する支援体制の確立や多文化共生のまちづくり実現に向け、外国籍等区民と日本人が共に協力し合う取組を、一層拡大していく必要があります。また、外国籍等区民が行政サービスを的確に受けることができるよう、外国籍等区民の集住地区であるいちょう団地および区域を支援する取組が必要となっています。</p> <p>2 外国籍等区民が地域住民として近隣住民との交流や活動に参加できる体制を整備するとともに、多文化共生社会の実現に向けた活動をしている団体への支援も必要です。</p>			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応	5 区民アンケート	8 その他	
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 2 地域活動の広がるまちづくり			
3 根拠法令・要綱等	多文化共生推進事業補助金交付要綱、横浜市国際交流ラウンジの設置及び運営に関する指針、いずみ多文化共生コーナー運営要綱			

【実績の推移・今後見込み】
いちょう団地地区を中心に住民の交流等取組を支援し、様々な国籍や文化をもつ住民が、お互いに支え合える関係づくりを進めてきました。21年度に行った「泉区外国籍区民ニーズ調査」の結果を踏まえ、多言語による情報発信・日本語学習支援や、保育園で開催される子育てサロンにことばサポーターの派遣等を行って来ました。R2年度は、26年度に実施した「泉区外国人意識調査」の結果を引き続き踏まえ、地域交流支援や日本語学習支援を行うとともに、地域で活躍しているボランティア団体と引き続き連携し、多文化共生実現に向け事業を実施していきます。

【実施内容】

1 多文化共生まちづくり推進事業
いちょう団地地区は、外国籍等区民が全世帯の約2割を占めており、地域住民として地域活動に参加する機会の提供が課題となっています。このように外国籍等区民を交えたまちづくりを進めていくために、いちょう団地連合自治会が中心となって実施する交流事業等「多文化共生のまちづくり」につながる取組を支援します。また、「横浜市国際交流ラウンジの設置及び運営に関する指針」に基づき、いずみ多文化共生コーナーの運営を充実・強化し、多文化共生の取組を推進します。

2 コミュニケーション支援事業
(1) 泉区リビングガイドの発行
泉区で生活する外国籍等区民を対象とした多言語で表記された生活情報誌「泉区リビングガイド」を配布します。
■「泉区リビングガイド」概要
〔言語〕5か国語
〔内容〕外国籍等区民に向けた生活情報
〔発行時期〕5月
(2) 外国人基礎調査
今後の事業展開を検討する上での基礎資料とするため、区内在住の外国籍等区民の実態調査をします。

3 外国籍等区民への子育て支援事業
日本語に対応できない妊婦及び子育て中の区民を対象に、通訳等のサポートを行います。
(1) 同行等通訳
妊娠中から必要な支援を把握し、安全な出産を迎えるサポートの実施及び乳幼児健診後のフォローや個別心理対応時に通訳が同行・同席し、きめ細やかな子育て支援を行います。
訪問や関係機関等への職員同行時に通訳者の調整がつかない場合に翻訳機を用いて対応します。
〔実施回数〕13回
〔対象〕日本語に対応できない外国籍区民(中国語・ベトナム語)

(2) 北上飯田保育園子育てサロン

北上飯田保育園において、地域の外国籍親子への支援として日本の文化にふれあい、親しみを持っていただきながら居場所を提供する子育てサロンを開催します。

〔実施回数〕年37回（基本毎週水曜日、8月を除く）

〔対象〕外国籍保護者等

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
多文化共生まちづくり推進事業	990	990	0	
コミュニケーション支援事業	1,306	1,446	△ 140	事業見直しによる減
外国籍等区民への子育て支援事業	312	311	1	通訳謝金、消耗品費の増
事業費合計	2,608	2,747	△ 139	

【根拠とするデータ等】

泉区外国人意識調査報告書(平成27年2月)

横浜市統計ポータルサイト(外国人人口)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	栗竹 史明 山崎 由美	古川 博映 片山 貴博	

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成23年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	ごみ減量化推進事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	3

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,424	0	0			2,424
前年度	2,467	0	0			2,467
増△減	△ 43	0	0	0	0	△ 43

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,296	3,287	2,467	予算	事業費	2,424	2,424
	メリット+一般財源	3,296	3,287	2,467		一般財源	2,424	2,424
決算	事業費	3,247	3,039	2,431	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	3,247	3,039	2,431	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	次の世代へ良質な都市環境や地球環境を引き継ぐために、区民や事業者との協働により、ヨコハマ3R夢プランの普及啓発に取り組み、ごみの減量化を推進します。また、清潔できれいな街ヨコハマを実現するため、地域の清掃活動の支援等を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	横浜市では「ヨコハマ3R夢プラン」の浸透、とりわけごみの発生抑制、分別、資源化、減量化などを継続して推進していくことが求められています。分別排出は浸透してきていますが、いまだにリサイクル可能な紙類などが燃やすごみとして出されており、とりわけ単身者向けアパートの集積場所に多く見られます。こうした状況を改善するためには、地域の協力を得ながら地域の特性や対象者の特性(地域との関わりの薄い若年層など)に応じたきめ細かな施策・事業を展開する必要があります。また、地域における清掃活動等への表彰や早朝啓発の応援等をはじめ、地域と協働した清潔できれいな街づくりが求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 2 地域活動の広がるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	横浜市一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン)、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例、泉区地域ごみ減量化推進活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】					
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実	令和2年度目標
ごみと資源の総量(※原単位)	36,185 t (645 g)	35,550 t (636 g)	34,749 t (624 g)	34,779 t (626 g)	33,829 t (616 g)
ごみと資源の総量の増減率(平成29年度比)	+1.8%	基準年	-2.3%	-2.2%	-4.8%

※原単位:区民1人が1日に出すごみと資源の総量

- 【実施内容】
- ごみ減量化活動支援事業

地域が主体的に取り組むごみの減量化活動に対して、必要な支援を行います。

 - 連合自治会町内会(12地区)に、ごみと資源の総量の削減や環境美化等のための実践・啓発活動に対する補助金を交付します。
 - 発生抑制等によるごみ総量の削減や、「ヨコハマ3R夢プラン」の認知度向上のため、啓発物品・資料等を作成します。
 - 自治会町内会、地域団体等を対象に啓発のための出前講座等を開催します。
 - 泉事務所で実施している小学校・保育園への出前教室や、ウェルカム教室を通して、環境学習を推進します。
 - 区内の商業施設等と連携し、啓発活動・キャンペーン等に取り組みます。
 - 区民の環境・美化意識の向上のため、3R夢プランの推進やきれいな街づくりの推進に功労のあった個人・団体を表彰します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ごみ減量化活動支援事業	2,424	2,467	△ 43	元年度実績に基づく減
事業費合計	2,424	2,467	△ 43	

【根拠とするデータ等】
ごみと資源の総量

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進 担当
	西園 豊	中島 剛	杉原 将

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	防災対策事業
-----	--------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	1, 2, 3, 4, 5, 6

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,366	0	0			8,366
前年度	8,366	0	0			8,366
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	7,591	7,423	8,923
算 メリット+一般財源	7,591	7,423	8,923
決 事業費	6,856	7,562	10,679
算 メリット+一般財源	6,856	7,562	10,679

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	8,366	8,366
算 一般財源	8,366	8,366

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	安全・安心なまちづくりを目指して、区民・事業者・行政が連携し、防災・減災対策を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	
1 防災の担い手の支援	(1) 防災の担い手の高齢化の問題や若い世代の防災活動への参加減少といった課題に対し、幅広い世代が防災活動に参加しやすい環境づくりや地域の防災訓練の活性化が必要です。 (2) 自助・共助の取組を推進する主体となる町の防災組織の体制整備・取組みに対する継続的な支援が必要です。 (3) 短期的に交代する各種団体の役員が防災活動を担うことが多い現状に対し、継続して防災活動に取り組む担い手の確保・育成が必要です。 (4) 災害時要援護者の安否確認を含めた地域での支援体制を構築していくことが必要です。
2 広報・啓発	(1) 災害時に住民の生命・身体の安全を確保するため、世代に応じた有効な広報手段を用いた広報が必要です。 (2) 自助・共助の意識を高め、災害時に1人1人が適切な行動をとれるよう、日ごろからの啓発強化が必要です。
3 地域防災拠点機能強化	(1) 発災時に円滑な地域防災拠点の開設・運営が行われるよう、地域防災拠点運営委員会委員、地域防災拠点参加及び発災時に参集する職員に対する研修を継続し、内容を充実していく必要があります。 (2) 地域防災拠点防災備蓄庫の資機材・消耗品を適切に管理し、常時使用可能な状態を維持できるよう、計画的に維持管理を行うことが必要です。
4 防災体制の整備・強化	(1) 災害時の円滑な区災害対策本部運営を行うため、関係機関との連携を強化することが必要です。 (2) 訓練、研修を通じ、災害時に円滑な活動ができるよう職員一人ひとりの意識向上を図ることが必要です。 (3) 防災計画、災害対応マニュアル等を随時見直し、職員への周知を図ることで円滑な区本部運営ができるようにする必要があります。 (4) 災害時に円滑な区本部運営を行うため、資機材を適切に維持管理していくことが必要です。
5 災害時医療調整・保健活動	災害時には区内各所で多数の負傷者が発生し、医療救護活動が困難になることが予想されます。そのため、発災時に迅速・的確に対応できるよう、平時から医療関係機関と連携した取組を進めることが重要です。また、発災時に予測される生活上の困りごとについても、平時から啓発等の取組を進めることが必要です。
6 災害時ペット対策	東日本大震災や熊本地震を受け、災害時のペットの同行避難について正しい知識の啓発が課題となっています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会	8 その他
-------------	------------	---------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度 泉区運営方針 3 安全・安心なまちづくり
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律、水防法、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、横浜市震災対策条例、横浜市危機管理指針、横浜市防災計画、泉区防災計画
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

自治会・町内会への防災研修	H29年度実績	H30年度実績	R 1年度	R 2年度	R 3年度見込み
	98/156団体	101/155団体	108/155団体	121/155団体	130/155団体
防災出前講座実施数	H29年度実績	H30年度実績	R 1年度	R 2年度見込み	R 3年度見込み
	14団体	22団体	29団体	10団体	30団体
泉区災害医療連絡会議開催数 (災害時救急病院部会開催数)	H29年度実績	H30年度実績	R 1年度実績	R 2年度見込み	R 3年度見込み
	2回 0回	2回 1回	2回 1回	1回 1回	2回 1回

【実施内容】

- 1 地域の防災担い手支援事業
 - (1) こどもや若い家族世帯を対象とした防災フェアを実施し、若い世代の防災活動への参加を促進します。
 - (2) 体験型防災アトラクション及びAR(拡張現実)、VR(仮想現実)を活用した体験的な防災プログラムを実施します。
 - (3) 小学生を対象とした防災出前講座により、若い世代の防災意識の向上、地域防災の担い手育成を図ります。
 - (4) 防災訓練資機材の貸出により、対象別(世代・要援護者)に効果が期待される防災プログラムを推進することで、町の防災組織の防災訓練の活性化を図ります。
 - (5) 「災害に強い地域づくり」を推進するため、町の防災組織等を対象とした研修会や出前講座を実施します。
 - (6) 発災時に地域の円滑な安否確認ができるよう、安否確認の取組事例を紹介するとともに、安否確認用グッズ(安否確認カード等)を自治会・町内会に配付し共助の取組を推進します。
 - (7) 災害時同報FAX網を利用し、避難情報等の災害情報を福祉施設等に提供します。
 - (8) 災害時要援護者支援を推進するため、町の防災組織等との協定締結による災害時要援護者名簿の提供や、災害時要援護者支援に関する説明会を開催します。
- 2 広報・啓発事業
 - (1) 区民の防災意識向上のため、講演会を開催します。
 - (2) ホームページの整備を進め、分かりやすい防災・災害に関する情報を適宜発信します。
- 3 地域防災拠点機能強化事業
 - (1) 地域防災拠点運営委員会連絡協議会総会を開催します。
 - (2) 地域防災拠点運営委員長会を開催し、実践的な拠点運営に向けた対策について議論・検討を進めます。
 - (3) 地域防災拠点の運営が円滑に行えるよう、防災ライセンスリーダー等を対象とした研修会を実施し、資機材を取り扱える人材を確保・育成します。
 - (4) 地域防災拠点運営委員会委員に対する地域防災拠点の開設・運営についての研修を実施します。
 - (5) 地域防災拠点の参集職員及び参与への研修を実施します。
 - (6) 地域防災拠点防災備蓄庫の防災資機材の修繕・点検及び燃料等消耗性部品の補充を行います。
 - (7) 地域防災拠点へ配布する衛生対策ポスターについて、内容更新、追加及び枚数の補充を行います。
- 4 防災体制の整備・強化事業
 - (1) 防災関係機関等と連携し、災害発生時に的確な対応ができるよう、防災連絡協議会総会を開催します。
 - (2) 災害対応能力のさらなる向上を図るため、「防災週間」「防災とボランティア週間」に、地域や関係機関と連携した泉区災害対策本部運営訓練を実施します。
 - (3) 土木事務所・消防・警察と連携し、風水害対策訓練を実施します。
 - (4) 区職員を対象とした研修を実施します。
 - (5) 災害用携帯電話・衛星携帯電話等の維持管理を行います。また、区本部用の備蓄品を購入します。
- 5 災害時医療調整・保健活動事業

三師会、病院、クリニック、薬局との合同訓練(通信訓練、のぼり旗訓練等)、研修会を実施します。また、泉区医療関係機関との災害医療連絡会議を開催します。
- 6 災害時ペット対策事業

地域防災拠点等に災害時ペット同行避難訓練をはたらきかけ、拠点訓練に合わせ災害時のペット同行避難用品や啓発パネルの展示、パンフレットの配布等を活用した説明を行うことで地域の理解を深めます。

また、各地域の地域防災拠点運営委員会に出張講座を行い、災害時のペット同行避難の具体的な運営方法等の説明を行うことで円滑な拠点運営を支援します。

ペットの飼い主についても狂犬病予防注射集合会場、窓口登録時及びしつけ方教室などあらゆる機会をとらえて災害時への備えについての啓発を行っていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域防災の担い手支援事業	3,641	3,061	580	防災フェアのコンテンツ拡充による増
2 広報・啓発事業	695	450	245	啓発チラシ作成による増
3 地域防災拠点機能強化事業	1,166	1,465	△ 299	資機材整備完了による減
4 防災体制の整備・強化事業	2,286	2,581	△ 295	資機材整備完了による減
5 災害時医療調整・保健活動事業	392	392	0	
6 災害時ペット対策事業	186	417	△ 231	パンフレット在庫活用による減
事業費合計	8,366	8,366	0	

【根拠とするデータ等】

令和元年度 泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	岡本 今日子	椎野 巧	阿部 雅弘

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成16年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	防犯対策推進事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,414	0	0			5,414
前年度	5,291	0	0			5,291
増△減	123	0	0	0	0	123

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算				予算		
事業費	4,474	4,449	4,628	事業費	5,414	5,414
メリット+一般財源	4,474	4,449	4,658	一般財源	5,414	5,414
決算						
事業費	4,764	4,234	4,514			
メリット+一般財源	4,764	4,234	4,514			

事業の概要(目的)	地域の防犯力強化を推進するために、地域による自主的な防犯活動を支援します。また、地域や学校、PTA等が実施する児童・生徒の見守り活動等の充実強化を図り、安全確保に努めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

防犯対策は毎年、地域からの高い要望があり、今後も対策を継続していくことが求められています。令和元年泉区内の犯罪発生数は、減少傾向にあるものの、空き巣や車上狙い、特殊詐欺（振り込め詐欺等）については増加傾向にあります。このため、地域、事業者、団体、行政等の協力連携により、地域総ぐるみによる犯罪抑制に向けた活動が必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度
-------------	------------	----------

2 運営方針等との関係 泉区運営方針 3安全・安心なまちづくり

3 根拠法令・要綱等 防犯活動支援事業補助金交付要綱、泉区小学生防犯ブザー購入費補助金交付要綱、泉区地域防犯カメラ修繕等補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】										
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
犯罪発生数	1,241	1,169	1,000	981	790	633	720	665	640	600
空き巣	64	67	27	35	21	35	21	7	31	49
車上狙い	65	58	54	50	45	42	21	18	40	56
特殊詐欺	11	15	11	29	25	8	24	50	35	58

【実施内容】

- 地域連携事業

地域ぐるみの防犯対策の充実を図るため、「泉区地域防犯まちづくり推進協議会」を中心として、地域や団体、事業者等、関係機関との連携を強化します。

 - 地域防犯担当責任者会議

12地区連合の防犯担当責任者と警察・防犯協会・区役所が情報共有や課題検討等を行うために開催します。
 - 防犯協定締結事業者との連携強化

事業者や団体に防犯啓発品（前かごプレート、ステッカー、チラシ等）や犯罪発生情報を提供します。
- 地域防犯力支援事業

12地区連合の自主防犯活動を支援します。

 - 防犯活動経費補助

12地区連合へ1地区10万円+自治会町内会数×5千円の補助金を交付します。
 - 防犯カメラ維持管理支援

地区連合及び自治会町内会で維持管理を行っている防犯カメラ画像記録部の修繕について、1台あたり3万円（上限）の補助金を交付します。
 - 防犯啓発品の提供

のぼり旗（緑、黄、ピンク等）、ポール等を地区連合、自治会町内会等へ提供します。
 - 防犯講習会、合同防犯パトロール

泉警察署と連携して地区連合や各自治会町内会等を対象に講習やパトロールを行います。
 - 泉警察署と連携した犯罪発生情報の提供

「いずみ安全・安心メール」メーリングリストを使用した犯罪予防 啓発を行います。
 - 消費者対策研修会

研修会を実施し、消費者被害を防止します。
 - わんわんパトロール隊

パトロールのリード票を配付し、愛犬の散歩時に着用することで地域の目を増やし、犯罪抑止につなげます。
 - 子ども防犯対策

ア 児童防犯ブザー購入助成
児童用防犯ブザーの購入に係る費用の一部を区PTA連絡協議会に助成します。（補助率50%、生活保護受給世帯の児童100%）
イ 青色回転灯装備車によるパトロール
児童の登下校の時間帯に、公用車青色回転灯装備車によるパトロールを実施します。
- 地域防犯巡回警備事業

犯罪抑止を目的として、青色回転灯装備車による巡回事業を実施します。（泉区全域、車両1台配置）

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域連携事業	832	969	△ 137	啓発物品の統合及び単価の減
地域防犯力支援事業	3,277	3,324	△ 47	元年度実績に基づく減
地域防犯対策巡回警備事業	1,305	998	307	労務単価及び日数の増
事業費合計	5,414	5,291	123	

【根拠とするデータ等】
 ・泉警察署発表「犯罪発生状況」
 ・令和元年度泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小澤 義則	係長 中島 剛	係 渡邊 楓子 杉原 将
--------------------	-------------	------------	--------------------

[泉 区 地域振興 課]

Table with 6 columns: 予算区分, 防犯・防災・安全対策費, 性質・課題区分, 交通安全, 事業開始年度, 平成16年度

Table with 2 columns: 事業名, 交通安全対策推進事業

Table with 2 columns: 特記事項, 中期計画-38の政策, 行政運営, 財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

Table with 2 columns: 中期計画-38の政策, 政策番号, 主な施策番号, 20, 2

Table with 2 columns: 事業評価書番号, 事業評価書番号

(単位：千円)

Table with 6 columns: 区分, 金額, 国・県, 諸収入, 一般財源, 本年度, 前年度, 増△減

Table with 6 columns: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 歳出, 令和4年度, 令和5年度

Table with 2 columns: 事業の概要(目的), 交通安全関係機関、団体と連携を図り、交通ルール・マナーの普及を街頭啓発活動やキャンペーン活動を通じて行い、交通事故の防止を目指します。

(説明)

1 地域の課題等

令和2年7月末時点における区内の交通事故発生件数は143件（前年同期比△32件）、交通事故による死者数は0人（前年同期比△1人）となっており、新型コロナウイルス感染症による外出自粛による影響を考慮しても、総件数は長期的に減少傾向となっています。その一方、65歳以上の高齢者の事故が63件（前年同期比△4件、構成比44.1%）となっており、高い割合となっています。高齢者の事故の特徴として、交通ルールや交通マナーを守っていれば防げたケースも多いことから、今後とも高齢者を対象とした啓発活動等に重点を置く必要があります。また、自転車利用者に対しては、自転車の安全利用・マナーアップの重要性について広く周知を図る必要があります。小学校児童の登下校時の安全確保については、スクールゾーン対策協議会・関係行政機関・地域・学校が一体となって更なる交通安全対策の強化を図る必要があります。

Table with 5 columns: 地域の課題等の収集手段, 1 日常の窓口対応等, 2 陳情, 3 地区担当制度, 7 関係団体からの要望

Table with 2 columns: 2 運営方針等との関係, 泉区運営方針 3安全・安心なまちづくり

Table with 2 columns: 3 根拠法令・要綱等, 交通安全対策基本法、横浜市各季交通安全実施要綱、スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、通学路安全マップ作成補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 交通事故発生件数と高齢者の事故比率

Table with 9 columns: H24, H25, H26, H27, H28, H29, H30, R01, 交通事故発生件数(A), うち高齢者の事故件数(B), 構成比(B/A)

2 標識数（スクールゾーン関係）

Table with 10 columns: H24, H25, H26, H27, H28, H29, H30, R01, スクールゾーン, 路面標示, 新設, 更新

【実施内容】

1 泉区交通安全対策協議会運営事業

- (1) 各季の交通安全運動 : 4回実施 (4月春、7月夏、9月秋、12月冬(年末))
各季交通安全運動期間中の「横浜市実施要綱」に基づく広報啓発活動、キャンペーン活動の実施
(2) 新入学児童を対象とした啓発の実施 : 対象区内全小学校16校
入学式における啓発活動(のぼり旗掲出、啓発物品等配布、声かけ等)、交通安全教室の実施
(3) 年間を通じた交通安全運動 : 4回実施(5月、6月、10月、12月)
「子ども・高齢者の事故防止」「二輪車・自転車の事故防止」「自転車マナーアップ啓発の強化」の3点に重点を置いて啓発活動を実施
(4) 総会の開催 : 3月開催
功労者等表彰実施
(5) 幹事会開催 : 6回実施
警察、交通安全協会、安全運転管理者会などの関係機関・団体、相互により、各季及び強化月間等キャンペーンの協力依頼や交通安全にかかる情報交換等を行ない連携強化を図る
(6) 広報・啓発活動

- ・「泉区交通安全対策協議会だより」の発行（年3回）
- ・公用車による広報や啓発活動の実施（各季や強化月間中、公用車で広報や啓発を実施）

2 交通安全マナーアップ推進事業

- (1) 泉区交通安全功労者表彰
交通安全と事故防止に貢献した個人や団体で、その功績が顕著なものの表彰
- (2) 泉区子ども交通安全地域活動表彰
地域の交通安全活動の結果、1年間区内で発生した交通事故の当事者となった児童のいないスクールゾーン対策協議会の表彰
- (3) 交通安全スローガンコンクールの開催
小学生への交通安全を考える機会の提供と入賞作品の啓発活動への活用を目的として実施
【スローガンコンクール参加者実績】
H27年度5,179人、H28年度5,465人、H29年度5,558人、H30年度6,012人、R元年度5,586人、R2年度中止

3 子ども交通安全対策事業

- (1) 通学路安全対策連絡会の開催 : 3回実施
学校ごとの取組みについての情報交換や意見交換、交通安全協会による講習等により、校外委員活動が活性化できるよう支援
- (2) 通学路安全マップ作成支援
「通学路安全マップ作成補助金」の交付
- (3) 通学路安全確保
 - ・旗振り研修の実施
 - ・学校、地域、行政（警察・土木事務所・区役所）合同による通学路安全点検の実施：区内全小学校（16校）
 - ・路面標示、道路標示の新設・補修（土木）、信号機・横断歩道の設置（警察）、電柱巻等の新設・更新（区役所）等の要望対応等
- (4) スクールゾーン対策推進事業
「スクールゾーン推進組織助成金」の交付

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
泉区交通安全対策協議会運営事業	392	392	0	
交通安全マナーアップ推進事業	796	796	0	
子ども交通安全対策事業	3,425	3,648	△ 223	
事業費合計	4,613	4,836	△ 223	

【根拠とするデータ等】

横浜市内の交通事故統計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小澤 義則	屋代 正男	村杉 忠

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	自転車等放置防止事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	440	0	0			440
前年度	440	0	0			440
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	445	445	440
メリット+一般財源	445	445	440
決 算 事業費	440	445	389
メリット+一般財源	440	445	389

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	440	440
一般財源	440	440

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年 月)
 無

事業の概要 (目的)	区内には相鉄線、市営地下鉄線の9駅があり、各駅(下飯田駅・ゆめが丘駅は1駅とする)に自転車等放置防止推進協議会(以下「協議会」)が設置され、自転車等の利用者に、マナー向上や自転車等駐車場の利用促進等の啓発活動を行っています。利用しやすい駅周辺環境を整備するため、引き続き協議会とともに自転車等放置防止対策を行う必要があります。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や身障者の通行の確保、自転車盗難の防止、緊急時の歩道の確保等のために、駅周辺の放置自転車防止活動に関係団体と連携して実施していく必要があります。 事故防止のため、特に自転車と歩行者が錯綜し安全が求められる箇所では、自転車利用者へのマナーアップやルールを守るように啓発する必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	泉区運営方針 3安全・安心なまちづくり
-------------	---------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市自転車等の放置防止に関する条例、自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

区内放置自転車台数	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度
台数	86	127	74	94	93	38	49	40	31

※毎年11月に道路局で実施する横浜市内鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査

- 【実施内容】
- 自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金の交付
対象：9駅8協議会 補助金額：50,000円
 - 各駅協議会による放置自転車防止啓発活動
内容：警告札貼り、区域内パトロール、マナーアップ等啓発
 - 鉄道事業者、駅周辺店舗等への協力依頼等

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自転車等放置防止事業	440	440	0	
事業費合計	440	440	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市内鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査、移動・返還・処分 駅別一覧、道路交通法

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小澤 義則	屋代 正男	村杉 忠

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	いずみ文化振興事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,503	0	0			4,503
前年度	4,583	0	0			4,583
増△減	△80	0	0	0	0	△80

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,819	2,819	4,109
メリット+一般財源	2,819	2,819	4,109
決 算 事業費	2,790	2,691	4,247
メリット+一般財源	2,790	2,691	4,247

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	4,503	4,503
一般財源	4,503	4,503

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	1 区民文化団体等による作品等の展示・発表・交流の場を提供し、区の文化振興を図ります。 2 泉区内の多くの魅力資源を区民に知ってもらい、地域に目と足を向けてもらうための取組を実施します。 3 地域に伝わる伝統文化(歌舞伎、太鼓・お囃子、相模風)の「保存・普及・継承」活動への支援を進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>区民による文化振興を支援するため、区内で活動する文化団体等に「発表の場」の提供や、広報・参加者の募集などの活動支援が求められています。 文化活動の支援を通じて、世代を越えた文化交流、伝統文化の普及、活気ある地域活動の推進が課題となっています。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 1 魅力ある泉区づくり
3 根拠法令・要綱等	泉区民文化祭補助金交付要綱、いずみ伝統文化保存事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
 1 文化振興事業 泉区文化振興委員会による、泉区民文化祭を年1回、区民ホールでの発表・展示を通年で実施しています。
 ※ 区民文化祭(泉公会堂・泉区民文化センター)R元. 10/21~11/10、第33回、40団体11個人1,615人が参加、4,195人來場(第34回泉区民文化祭R2. 10/19~11/8開催中止)
 ※ 区民ホール事業(区役所1階の区民ホール) 展示部門が毎月1週間、発表部門が毎月3日間程度実施しています。
 ※ つるし飾り展の開催 区の活性化に繋がる資源の活用に向けた事業として、つるし飾り展を実施します。(2月)
 2 いずみ伝統文化保存事業 横浜いずみ歌舞伎、太鼓お囃子、相模風の伝統文化の保存・普及・継承活動を実施しています。

	内容	R1年度実績	R2年度予定
横浜いずみ歌舞伎	区民の手づくりによる衣裳・小道具展示	9/30~10/4 区民ホール	R2. 10/5~10/9予定
	横浜いずみ歌舞伎公演の実施	10/20~10/21 泉区民文化センター テアトルフォンテ	中止
	和泉小学校6学年への歌舞伎指導「和泉っ子歌舞伎」	8月	中止
	後継者獲得のための歌舞伎講座の開催や公開練習の実施	歌舞伎体験出演指導 (8月~10月)	—
太鼓・お囃子	太鼓・お囃子フェスティバル	6/16 泉区民文化センター テアトルフォンテ	中止
	地域の祭礼・行事、福祉施設等での太鼓・お囃子演奏活動	随時	

相模凧	凧揚げ大会の開催	5/5 天王森泉公園近くの 田んぼ	中止
	凧の製作、イベントでの展示	太鼓・お囃子 フェスティバル 横浜いずみ歌舞伎公演	—

【実施内容】

- 文化振興事業 次の文化事業を通じ、泉区の多世代交流や文化活動の活性化支援を行います。
 - 区民文化祭(区庁舎・泉公会堂・泉区民文化センター)の開催
 - 区民ホール事業(区役所1階の区民ホール)展示部門が年4回程度1週間、発表部門が毎月4日間程度実施
 - つるし飾り展の開催 区の活性化に繋がる資源の活用に向けた事業として、つるし飾り展を実施します。(2月)
- いずみ伝統文化保存事業

市内で唯一、保存会による普及・継承活動を行っている歌舞伎、地域での活動が盛んな太鼓・お囃子、約400年の伝統を持つ相模凧は、泉区の誇る伝統文化であり、将来に残すべき価値という観点から、普及と継承を担う泉伝統文化保存会の事業に対して補助金を交付し、活動を支援します。

 - 横浜いずみ歌舞伎 手作りの衣裳・小道具の展示、横浜いずみ歌舞伎公演の実施(10月中旬、R2年度は中止)
和泉小学校6学年への歌舞伎指導(6~12月)
後継者獲得のための歌舞伎講座や公開練習の実施
 - 太鼓・お囃子 太鼓・お囃子フェスティバル(6月中旬)
地域の祭礼・行事、福祉施設等での太鼓・お囃子演奏活動(随時)
 - 相模凧 いずみ相模凧揚げ会の開催(5月5日、天王森泉公園近くの田んぼ)
凧の製作、イベントでの展示
- 伝統文化を通じた次世代育成事業

高齢化や、今後人口減少が予測される泉区の活力を保持していくためには、特に青少年層へ他の地域では無い“魅力”をアピールしていくことが必要です。

区に伝わり、現在地域で盛んに活動している、伝統文化と活動を担う人に触れてもらう機会を創り、次世代がその良さを実感していただけるよう次の事業を実施していきます。

 - 小中学生のいずみ歌舞伎公演体験出演
 - 中学生を対象とした伝統文化普及活動の実施：歌舞伎の歴史、楽しみ方講座などの体験授業(1~2月)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1. 文化振興事業	980	980	0	
2. いずみ伝統文化保存事業	3,318	3,398	△ 80	
3. 伝統文化を通じた次世代育成事業	205	205	0	
事業費合計	4,503	4,583	△ 80	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係 中村 恵美子 澤辺 遥
	小澤 義則	古川 博映	

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	区民スポーツ振興事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	2

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,748	0	0			1,748
前年度	1,748	0	0			1,748
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,125	1,125	1,339
メリット+一般財源	1,125	1,125	1,339
決 算 事業費	1,122	1,123	1,339
メリット+一般財源	1,122	1,123	1,339

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,748	1,748
一般財源	1,748	1,748

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	地域でスポーツ振興を実施する団体、スポーツ大会・教室を実施する団体への支援を実施します。また、地域資源を活用したスポーツ振興イベントを開催し、区民がスポーツに取り組むきっかけづくりになる事業を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

日常、スポーツや運動をする機会が少ない区民の方々に、気軽に参加する事ができるスポーツの機会を提供し、地域へのスポーツ普及、区民の健康増進を図る必要があります。
また、各種専門競技を行う団体の活動を支援することで、泉区でのスポーツを取り巻く環境の充実が求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度 泉区運営方針 2 地域活動の広がるまちづくり

3 根拠法令・要綱等 泉区体育協会会則、泉区体育協会事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込
体育協会大会数	142回	141回	129回	131回	140回

【実施内容】

- スポーツ振興団体支援事業
区体育協会支援事業
・泉区体育協会が行っている各種スポーツ大会や教室、また、区民参加型のスポーツフェスティバル開催への支援を行ない、泉スポーツセンターと連携しながら、地域スポーツの運営を強化します。
- 地域資源を活用したスポーツ振興啓発事業
・旧深谷通信所跡地を活用した区民参加型のスポーツイベントを開催します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 スポーツ振興団体支援事業	1,160	1,160	0	
2 地域資源を活用したスポーツ振興啓発事業	588	588	0	
事業費合計	1,748	1,748	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小澤 義則	山口 直利	田岡 勇希

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名	青少年を育むまちづくり事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	796	0	0			796
前年度	846	0	0			846
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	820	875	875	予算	事業費	796	796
	メリット+一般財源	820	875	875		一般財源	796	796
決算	事業費	725	845	757	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	725	845	757	有:件名()、日付(年月日)			

事業の概要(目的)	青少年が、他の青少年や地域の大人との交流を通して、将来を担っていく人材に育成するまちづくりを進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

(1) 少子化や都市化が進み、青少年が安心して過ごせる場所や様々な人と触れ合う機会が少なくなる中、青少年や地域との交流等を通じ、自主性や社会性を育みながら安心して気軽にくつろげる場の確保が必要です。

(2) 自治会町内会などの役員や地区選出各種委員の担い手が不足し、活動者の高齢化が進んでいます。

地域の大人たちと青少年の交流機会を設け、青少年の親の世代にあたる30～40歳代等の参画により、将来の地域活動の担い手育成につなげる必要があります。

地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望		
-------------	---------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係 泉区運営方針 5 子育てしやすいまちづくり

3 根拠法令・要綱等 泉区地域の子ども交流支援事業補助金交付要綱、泉区地域連携青少年育成事業補助金交付要綱、泉区青少年活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 地域の子ども交流支援事業

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込
地区数	5	5	5	5	5

2 地域連携青少年育成事業

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込
実施団体数	3	3	3	3	3

3 区子ども会育成指導者連絡協議会

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度見込	R3年度見込
地区数	4	4	3	3	3

【実施内容】

1 地域の子ども交流支援事業
子どもたちが地域の大人と一緒に工作やスポーツを行うことで、地域の中で互いに顔のつながる関係を築きながら、楽しく過ごすことができる交流の場を、地域と協働して区内地区センター等を中心とした5方面地区(中川、立場、緑園、下和泉、上飯田)で定期的に実施します。

さらに、事業の担い手の幅を広げ、地域に根差した活動とするため、地域内の中学校との協力による中学生ボランティアの参画を推進します。

また、連絡会を開催し、各地区間の情報共有を行い、事業内容の拡充を図ります。

2 地域連携青少年育成事業
青少年に関わる地域の団体が連携して行う、青少年健全育成の取組みを支援し、児童が地域の大人たちと交流する機会を設けるとともに、親の世代である30～40代の参画により、将来の地域活動の担い手育成につなげていきます。

3 区子ども会活動推進事業
泉区子ども会育成指導者連絡協議会の活動を支援：指導者研修会(6月)、環境体験教室(8月)、書道展(2月)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域の子ども交流支援事業	616	636	△ 20	元年度執行実績に基づく減
地域連携青少年育成事業	90	120	△ 30	元年度執行実績に基づく減
区子ども会活動推進事業	90	90	0	
事業費合計	796	846	△ 50	

【根拠とするデータ等】
地域の子ども交流支援事業地区数、地域連携青少年育成事業実施団体数、区子ども会育成指導者連絡協議会加入地区数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小澤 義則	係長 古川 博映	係 伊豆丸 侑希
--------------------	-------------	-------------	-------------

[泉 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成21年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	いずみっこ子育て支援事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	4

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,979					1,979
前年度	1,530					1,530
増△減	449	0	0	0	0	449

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	2,119	2,111	1,742
メリット+一般財源	2,119	2,111	1,742
決算 事業費	2,037	2,070	1,558
メリット+一般財源	2,037	2,070	1,558

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,981	1,981
一般財源	1,981	1,981

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
☑

事業の概要(目的)	親子が地域で安心して育児ができるよう、支援します。
-----------	---------------------------

(説明)

1 地域の課題等	少子化や核家族化の進行により、夫婦二人での初めての子育てへの不安や、産後うつ等の発症などのリスクがたかまります。このため、出産前から仲間づくりの機会を提供したり、両親で育児のスタートを切るための妊娠期の教室、子育て仲間づくりのきっかけとなる赤ちゃん教室を地域で開催します。安心して参加できるように、新型コロナウイルス感染症予防対策と第2波に備えて、web環境での対応も必要となります。区役所でのweb環境が整わない場合には、地域子育て支援拠点との協働による育児の啓発や情報発信、教室運営などの実施の検討が必要となります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 5 子育てしやすいまちづくり
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、横浜市中期計画、第3期泉区地域福祉保健計画、横浜市子ども・子育て支援事業計画

実績の推移・今後見込み							
子育てプレクラス	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込み	4年度見込み
開催数	48	48	48	44	40	24	24
赤ちゃん教室数	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込み	4年度見込み
教室数	11	11	11	10	10	10	10

【実施内容】	<p>パパ・ママ子育て支援事業</p> <p>(1)いいKAGENな子育てプレクラス</p> <p>〔内容〕 妊婦編では妊婦とその家族を対象に、ヨガによる健康づくりを実施し、出産に向けて呼吸法や体の使い方を学び、主体的分娩を支援します。妊婦のパートナーに妊婦体験を実施し、妊娠中からのサポートの必要性を伝えていきます。また、心理士による講義を行い、親になる心構えを持てるように図ります。</p> <p>産後編では出産後の父母と子を対象に、母子保健コーディネーターが中心となり、妊娠期からの継続支援と体重増加不良等の発育の確認や育児不安の相談の場とします。また、産後の母体回復を促すために、骨盤のゆがみ等を整える体操を実施します。妊婦編、産後編の参加者のふれあい時間をもち、育児のイメージ化を図ります。さらに今後、産後うつの周知と理解のためのプログラムを充実させるため、従事者向けの研修会を実施します。</p> <p>〔実施回数〕 妊婦編：年12回（月1回） 産後編：年12回（月1回）</p> <p>〔対象者〕 妊婦編：妊婦及びパートナー、妊婦の家族 産後編：1か月健診を受けた生後4か月頃までの赤ちゃんとも両親</p> <p>(2)赤ちゃん教室</p> <p>〔内容〕 初めて育児を行う母親等を対象に、保健師と運営協力者（地域住民）が地域ケアプラザ等区内10か所の会場で「赤ちゃん教室」を開催し、仲間づくりと育児相談を行い育児不安の軽減を図ります。合わせて、本教室で虫歯予防講座と離乳食講座を実施します。また、従事する運営協力者（地域住民）の連絡会を開催し、支援の質の向上を図るとともに、地域での見守り活動につなげます。コロナ感染症対策のため、事前予約と人数制限の上実施します。</p> <p>〔実施回数〕 赤ちゃん教室：区内10会場（1会場 年10回開催）うち虫歯予防講座2回・離乳食講座2回 連絡会：年1回開催</p> <p>〔対象者〕 赤ちゃん教室：0才児第1子の養育者 連絡会：赤ちゃん教室に従事する運営協力者10名</p>
--------	--

乳幼児健診等保育サポート事業

- [内 容] 乳幼児健診にて複数の子どもを連れた養育者が落ち着いた環境で安心して受診できるように、保育ボランティアを配置しサポートします。
- [実施回数] 乳幼児健康診査（1歳6か月児及び3歳児）：それぞれ月2回（年48回）
- [対象者] 乳幼児健診対象児童及び兄弟姉妹

子ども家庭支援相談普及啓発事業

- [内 容] 「子ども家庭支援相談」は、事業が開始された当時とは対象年齢や相談内容が変化しており、長期的な支援が必要な「家庭」「人間関係」などの環境的な課題や専門的な支援が必要な「精神発達」に関する相談の急増などのように、相談対応の迅速さや継続性、専門機関との連携体制が必要となってきています。また、こども家庭支援課は0歳から18歳までの相談・支援を行うようになりましたが、学齢期については関わるきっかけや提供できる福祉保健サービスがないのが現状です。
このため、リーフレットを作成し、こんにちは赤ちゃん訪問時や学校を通じて小学1年生と4年生、中学1年生の児童へ配布するなど配布方法も工夫し、乳幼児期から学齢期まで相談できる窓口を広く区民にPRします。併せて、区役所ホームページでもPRします。
- [実施内容] リーフレット作成（発行部数 8000部）
- [対象者] 子育て中の保護者
- [配付先等] こんにちは赤ちゃん訪問（第1子訪問時）、小学校低学年（1年生）・高学年（4年生）、中学校（1年生）、幼稚園、保育園、地域ケアプラザ、地区センター、地域子育て支援拠点、ひろば、民生委員など子育て支援関係者

子育て支援情報提供事業【新規】

- [内 容] 赤ちゃん教室など区役所事業や子育てサロンなど地域や関係機関の情報に加え、令和元年度の子育てに関するアンケートより養育者が知りたいと答えた内容（親子で行ける場所、一時預かり、相談できる場等）を含め、子育て支援の総合的なガイドブックを地域子育て支援拠点との協働により作成し、子育てしやすいまちづくりを推進します。
- [実施内容] ガイドブック作成（発行部数 3,000部）
- [対象者] 妊娠中から子育て期の養育者
- [配付先等] こんにちは赤ちゃん訪問（第1子訪問時）、区役所、地域子育て支援拠点、地域子育てサロン他で配付

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
パパ・ママ子育て支援事業	1,096	1,242	△ 146	事業見直しによる講師派遣回数の減
乳幼児健診等保育サポート事業	154	178	△ 24	乳幼児健診時における保育ボランティアの配置減
子ども家庭支援相談普及啓発事業	110	110	0	前年同額
子育て支援情報提供事業【新規】	619	0	619	新規事業
			0	
			0	
事業費合計	1,979	1,530	449	

【根拠とするデータ等】

赤ちゃんの世話の経験 泉区 ある27.2% なし72.5% 市全体 ある25.2% なし74.4%
 出産後半年ぐらいの内、子育てに不安を感じた よくあった+時々あった 泉区76.9% 市全体76.1%
 市子ども・子育て支援事業策定のニーズ調査報告（H30年11月）
 子育て中の親子が地域とつながりを持つために、隣近所や地域住民にできる取組 1位「親子が集える地域の身近な場づくり」23.8% 2位「普段からの声掛け」23.0% 3位「不安のある人や悩む人の話し相手」15.3%
 令和元年度泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子育て支援担当 係
	山崎 由美	金木 八千代	石川 知恵美

[泉 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成21年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援充実事業
-----	-------------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	23
主な施策番号	

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,266					2,266
前年度	3,467					3,467
増△減	△ 1,201	0	0	0	0	△ 1,201

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	2,183	2,112	3,555
メリット+一般財源	2,183	2,112	3,555
決算 事業費	2,233	2,321	4,039
メリット+一般財源	2,230	2,321	4,039

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	2,372	2,372
一般財源	2,372	2,372

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	子どもと養育者が安心して地域社会で生活ができるため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を充実し、児童虐待の予防から発生時の迅速な対応と、DV相談等への的確な支援ができる仕組みを構築します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待などの発生に迅速で的確に対応するとともに、その背景にある、子どもの発達特性(障害)や生活困窮(ひとり親の就労の形態や生活)からくる不適切な養育に対し、日ごろの相談業務に加え、より丁寧な関りから、養育者が子どもの自立を考えた社会資源の利用と支援体制を相談するための相談体制の充実が必要です。 少子化や核家族化が進行する中、支援者不在の中での慣れない育児で、育児不安に陥る家庭も少なくありません。児童虐待を未然に予防するためには不安や悩みをうけとめ、傾聴するきめ細かなサポートが求められており、地域住民の子育て支援力を充実・活用していくことが重要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 5 子育てしやすいまちづくり
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法 横浜市中期計画

【実績の推移・今後見込み】

	元年度実績	2年度 実績	3年度見込み
子ども虐待予防事業	相談日：156日	相談日：156日	相談日：48日
参考:児童発達支援、放課後等デイサービス利用者数(30年度365人、元年度401人 前年度からの継続313人 新規88人 新規利用者が増加)			
	元年度実績	2年度 実績	3年度見込み
地域の子育て支援力向上事業	検討会2回 講演会1回	検討会2回 方面別研修会 サポーター育成	検討会2回 サポーター支援・育成

【実施内容】

1 子ども虐待予防事業	<p>(1) 専門相談日の開設</p> <p>[内容] 児童虐待の背景に、子どもの障害や生活困窮(ひとり親等)の課題があります。現在、療育センターの新規相談の待機期間が6か月以上かかる中で、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用希望が増え、サービス利用時の「横浜市こどもサポートプラン」作成の相談も増えています。専門職が児童虐待の予防的な視点をもって、こどもとの生活や適切な社会資源の利用ができるよう、児童発達支援・放課後等デイサービス、ひとり親支援の個別の専門相談を実施します。(社会福祉職 週1回 半日)</p> <p>[実施回数] 48/年</p> <p>[対象者] 障害児の養育者、ひとり親</p> <p>(2) 体罰禁止、叱らない子育て啓発事業</p> <p>[内容] 児童福祉法改正に基づき、体罰によらない子育ての実現のため、①養育者向けの啓発：具体的な育児場面での対応をホームページ上で周知します。②支援者向け研修：区内の支援者がそれぞれの支援場面で養育者への啓発活動、助言ができるよう「叱らない子育ての実践や養育者の怒りのコントロール」について、研修を実施します。</p> <p>①叱らない子育てヒント集 web掲載 ・A4判10枚 ・概要版 A4判1枚</p> <p>②支援者向け研修</p> <p>[実施回数] 1回/年</p> <p>[対象者] 区職員、母子訪問員、子育て支援者 等</p>
-------------	---

2 地域の子育て支援力向上事業

〔内 容〕 乳幼児期の養育者が地域に見守られ、支えられている安心感を持って子育てに臨むことができるように、地域住民による子育て支援への参画や活性化によって、孤立化しない子育てができる地域づくりを目指し、身近な場で安心して相談ができる人材を増やし、地域の子育て支援活動を推進します。

①子育てしやすいまちづくりについての検討会の実施

〔実施回数〕 2回／年

〔メンバー〕 子育て支援の実績のある区民

②子育て応援サポーターのフォローアップと新規育成（委託）

〔委託先〕 地域子育て支援拠点

〔委託内容〕 ・子育て応援サポーターの活動支援（4回／年の連絡会）
・子育て応援サポーターのフォローアップ（1回／年の研修）新規育成（3回／年の研修）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
早期養育支援事業	0	663	△ 663	産婦健康診査の普及等により終了
子ども虐待予防事業	1,764	1,911	△ 147	会計年度任用職員から専門相談員への転換
地域の子育て支援力向上事	502	893	△ 391	啓発用品の減
			0	
			0	
事業費合計	2,266	3,467	△ 1,201	

【根拠とするデータ等】

・子育てをされていて感じる困りごと 1位「子どものしかり方・しつけ」56.7% 2位「こどもの食事」42.4% 3位「子どもとの過ごし方・遊び方」37.2%
・どのような相談先が相談しやすいか 1位「身近な集える場での気軽な相談」38.6% 2位「同じ悩みをもつ当事者同士」31.5%

市子ども・子育て支援事業策定のニーズ調査報告（H30年11月）

・子育て中の親子が地域とつながりを持つために、隣近所や地域住民にできる取組 1位「親子が集える地域の身近な場づくり」23.8% 2位「普段からの声掛け」23.0% 3位「不安のある人や悩む人の話し相手」15.3%
令和元年度泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子育て支援担当 係
	山崎 由美	金木八千代	中島正子

[泉 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成23年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
保育施設・幼稚園等との協働による子育て支援推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	2, 3, 4

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,269					1,269
前年度	1,359					1,359
増△減	△ 90	0	0	0	0	△ 90

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,207	1,962	1,962	予算	事業費	1,269	1,269
	メリット+一般財源	2,207	1,962	1,962		一般財源	1,269	1,269
決算	事業費	2,127	1,904	1,873	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月日)			
	メリット+一般財源	2,127	1,904	1,873				

事業の概要(目的)	保育所は保育園児の保育のみでなく、地域子育て支援の推進も求められています。保育の質の向上を図るとともに保育ニーズへの丁寧な対応や関係者の協力による子育て支援をすすめることで、待機児童0名の継続にもつなげていきます。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>1 保育所や幼稚園、子育てに関して区民の関心が高い。</p> <p>2 入所児童の増加・多様化する保育ニーズに伴い、保育所での人材確保及び保育士の負担軽減が課題である。</p> <p>3 23年度から和泉保育園が「市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業」の事務局機能を持ち、保育施設間のネットワークが定着しつつある。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	泉区運営方針 5 子育てしやすいまちづくり
3 根拠法令・要綱等	横浜市子ども・子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】						
いずみっこひろば	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
参加者数	624	792	860	824	中止	800
職場復帰講座	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
参加者数	18	16	16	10	15	15

【実施内容】

1 保育施設・幼稚園協働による保育施設PR事業
 [内容] 区内の保育施設・幼稚園・地域子育て支援拠点と協働し、区内育児支援情報の提供と保育園・幼稚園の紹介や説明会、離乳食相談、保育・教育コンシェルジュによる保育相談等を行うイベント「いずみっこひろば」を開催します。
 また、保育園園長会と連携して、未就労保育士や保育所に関心のある方等に、就労支援講座を開催します。
 [実施回数] 区役所において年各1回
 [対象者] 子育て世帯、保育士資格を持ちながら未就労の方、その他保育所の仕事に興味のある方

2 保育園地域支援事業
 (1) 育児支援講座
 [内容] 市立保育園において、①0歳児とその保護者向け講座、②1歳児～未就学児とその保護者向け講座、③育児講座 ④交流保育を実施します。
 [実施回数] ①年20回 ②年10回 ③年8回 ④12回
 [対象者] 子育て世帯

(2) 多世代交流事業
 [内容] 地域の中高齢者や中高校生等と園児が、生活や遊び等を通して交流します。
 [実施回数] 通年を通し、内容(土作り、お話し、保育体験等)により適宜実施します。
 [対象者] 中高齢者、中高校生、ボランティア登録者

3 職場復帰講座
 [内容] 職場復帰を希望する子育て家庭向けに、復帰する際に直面する課題や解決方法等について講座を開催します。

[実施回数] 年1回
 [対象者] 子育て世帯
 4 保育サービス等の情報発信
 [内容] 各園の保育・教育情報を掲載した冊子やポスターを発行することで、多様な保育ニーズに対応した情報を保護者に提供します。
 [実施回数] 通年
 [対象者] 子育て世帯

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保育施設・幼稚園協働による保育施設PR事業	355	395	△ 40	実績に基づく減
保育園地域支援事業	258	258	0	前年度同額
職場復帰講座	96	96	0	前年度同額
保育サービス等の情報発信	560	610	△ 50	実績に基づく減
			0	
			0	
事業費合計	1,269	1,359	△ 90	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	勝俣 好生	千田 有希苗	竹内 理有

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康づくり活動支援事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1, 2, 3, 4, 5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,610					2,610
前年度	2,609					2,609
増△減	1	0	0	0	0	1

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,954	2,456	2,165
メリット+一般財源	2,954	2,456	2,165
決 算 事業費	2,821	2,348	2,287
メリット+一般財源	2,821	2,348	2,287

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費		
一般財源		
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
(無)		

事業の概要(目的)	区民の最も大きな健康課題の一つである生活習慣病に着目し、区民の健康寿命を延ばすために、生活習慣(運動・食生活・口腔等)の改善について、正しい情報の提供を行い、区民の健康づくり活動の継続を支援します。実施にあたっては、保健活動推進委員会や食生活等改善推進委員会と連携して行います。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	健康寿命の延伸のためには生活習慣の改善やがん検診及び特定健診などでの疾病の早期発見が重要となっており、すべての区民を対象に、乳幼児期から高齢期まで継続して健康づくりの支援をしていく必要があります。泉区では特定健診の受診率は高いことから、継続受診の啓発を進めるとともに、がん検診については胃がん・乳がん・子宮がん検診が市全体の中で低い状況となっており、受診に向けての啓発が必要となっています。また、子どものう蝕率は平均よりも低いものの、更なる維持向上を目指して、養育者に対する歯科保健の意識向上を進めるほか、成人・高齢期における生活習慣病の重症化予防や受動喫煙防止などの啓発を進めていきます。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度 区運営方針 主な事業・取組 項目4 健康と福祉のまちづくり
3 根拠法令・要綱等	健康増進票、食育基本法、第2期健康横浜21、泉区地域福祉保健計画、横浜市がん撲滅対策推進条例

【実績の推移・今後見込み】					
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
区民のための食事相談	12回、118人	12回、245人	12回、236人	24回、400人	24回、400人
がん検診啓発	3,737人	2,651人	2,781人	2,800人	2,800人

【実施内容】	
1 健康づくり推進事業	・働き子育て世代などの生活習慣病予防のための運動・ウォーキング・栄養(食事)・歯科予防などを取り入れた講座等の実施。(4回)
2 食習慣の改善事業	・区民のための食事相談(24回) ・食生活改善指導講習会を食生活等改善推進委員会へ運営委託(年4回)
3 がん検診啓発事業	・働き・子育て世代から高齢者を対象に健康づくりイベントや地域のイベントにおいて各種がん検診の啓発を実施する。
4 乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業	・4か月児健診に来庁した保護者等へ自身の口腔ケア啓発とむし歯菌の母子感染予防を目的に、個別相談・指導を実施(月2回、計24回) ・3歳児健診に来庁した保護者等へ食事相談及び健康測定の実施(月2回、計24回) ・3歳児健診に来庁した保護者等へ乳がんの自己触診法の体験を行う乳がん啓発や、子宮がん検診の啓発の実施。(月2回、計24回)

- 5 生活習慣改善啓発事業（健康づくり啓発活動）
- ・生活改善啓発・健康づくり啓発動画を作成し、Web配信を実施。
 - ・生活習慣病予防をテーマに保健活動推進委員会・食生活等改善推進委員会等と連携し、相談・健康測定・パネル展示等を実施。
 - ・健康づくり情報コーナー「チョコレート立ち寄り健康チェック」に測定機器・パネル・チラシ等での啓発実施。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健康づくり推進事業	65	68	△ 3	平成30年度実績に伴う減
食習慣の改善事業	704	413	291	新規広報委託による増
がん検診啓発事業	40	210	△ 170	啓発方法見直しによる減
乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業	1,381	1,192	189	事務移管による増
生活習慣改善啓発事業	420	726	△ 306	啓発方法見直しによる減
			0	
事業費合計	2,610	2,609	1	

【根拠とするデータ等】

令和元年度 泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	斎藤 昌代	池田 敬士	足立 祐子

(泉 区 - 28)

[泉 区 高齢・障害支援 課]

Table with 6 columns: 予算区分, 地域福祉保健推進費, 性質・課題区分, 高齢者, 事業開始年度, 平成20年度

事業名: 泉区地域包括ケア推進事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 行政運営, 財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号 16, 主な施策番号 1, 2, 3, 4

事業評価書番号

(単位: 千円)

Table with 6 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源. Rows for 本年度, 前年度, 増△減.

Table with 4 columns: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度. Rows for 事業費, メリット+一般財源.

Table with 3 columns: 歳出, 令和4年度, 令和5年度. Rows for 事業費, 一般財源.

方針に関する決裁 種別() 有:件名(),日付(年月) (無)

事業の概要 (目的): 泉区の75歳以上の高齢者の割合は平成27年の12.7% (市内4位) から令和7年には19.6% (市内3位) と短期間に増加することが予想されています...

(説明)

1 地域の課題等
高齢化が進むとともに、医療や介護へのニーズは増大していく一方で、そのニーズに答えるだけの医療や介護に従事する人材は不足し、十分なサービス提供ができなくなることが予想されています...

地域の課題等の収集手段: 1 日常の窓口対応等, 3 地区担当制度, 4 地区懇談会, 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係: 令和2年度区政運営方針 4健康と福祉のまちづくり

3 根拠法令・要綱等: 介護保険法、健康増進法、老人福祉法、民法、高齢者虐待防止法、横浜市地域福祉保健計画、横浜市高齢者福祉保健計画・介護保険事業計画、泉区高齢者の生きがいと健康づくり事業補助金交付要綱、地域支援事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

Table with 7 columns: 泉区 75歳以上高齢者数※, H28, H29, H30, R1, R2, R7. Includes footnotes for data points.

Table with 7 columns: 泉区シニアクラブ数, 泉区シニアクラブ会員数, H27, H28, H29, H30, R1, R2.

Table with 6 columns: 泉区 認知症サポーター養成数累計 (キャラバンメイト含む), H27, H28, H29, H30, R1. Includes 年度末時点.

【実施内容】

1 認知症等地域支援事業

認知症の人やその家族が地域の中で自分らしく生活していくためには、地域全体で理解を深めていくことが重要です。また、看取りの在り方など、超高齢社会に向けて避けては通れない課題があります。これらの課題を解決するためには、誰もが当事者意識をもって考えていくことが必要です。当事者の視点で生活を体験できるVR機器を用いた研修を実施することで、区民への主体的な意識を醸成し、地域全体の理解へ繋がります。

2 地域包括ケア普及啓発事業

区社協専門機関部会と連携し、部会員である社会福祉法人等とともに、デイサービス等の送迎車を活用した移送サービスなど、移動に困難を抱える方の支援策等を検討していきます。既存のリーフレット等を増刷し、地域包括ケアシステム構築の中心となる地域包括支援センターの周知を図るとともに、高齢者支援にかかる事業の更なる普及啓発を進めます。

3 多職種のための情報連携支援事業

区民の方が安心して在宅療養を行うために、医療・介護関係者など多職種が連携するために必要な情報共有ツール「私のおぼえがき」の普及啓発を進めます。

4 緊急時の支援

親族からの支援が望めない高齢者等の緊急入院・入所の際の移送費や日用品の確保、支給を行います。

5 高齢者社会参加支援

泉区シニアクラブ大会開催費に対する補助 (交付先：泉区シニアクラブ連合会)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
認知症等地域支援事業	750		750	
地域包括ケア普及啓発事業	440	405	35	
多職種のための情報連携支援事業	200	200	0	
緊急時の支援	95	95	0	
高齢者社会参加支援	50	100	△ 50	
泉サポートプロジェクト支援事業	0	1,230	△ 1,230	
事業費合計	1,535	2,030	△ 495	

【根拠とするデータ等】

横浜市将来人口推計、泉区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害 係
	塗師 浩美	志澤 淳 梅田 久嘉 井田 理世	荒井 琢夢

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	令和2年度
------	-----------	---------	-----	--------	-------

事業名	和泉川健康みちづくり事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1

事業評価書番号	-
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,065					1,065
前年度	2,230					2,230
増△減	△ 1,165	0	0	0	0	△ 1,165

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費			
メリット+一般財源			
事業費			
メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	1,065	1,065
一般財源	1,065	1,065

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	泉区の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの行動指針に基づいた、区民が日常生活の中で楽しみながら、継続的に介護予防や健康づくりに取り組める支援を推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

区民が日常生活の中で、楽しみながら継続的に取り組める介護予防・健康づくりの健康ライフスタイルを確立するためには、身近な生活環境においてロコモ予防、運動、体操、ウォーキング等が自由に気軽に活用できる場所が必要となっています。

和泉川の河川管理路が完成したことにより、ロコモ予防、生活習慣改善、地域の仲間づくりなどができる健康づくりのみちとして、若い世代から高齢者などが自身の健康づくりに興味関心を持ち、区民から親しまれる介護予防・健康づくりの場として、コースガイドマップを活用したウォーキング講座の開催や健康みちの利便性を高めるように推進していきます。

区民が生涯にわたって、健康で生きがいを持って生活が送れるように介護予防・健康づくり事業を進めていきます。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会	8 その他
-------------	------------	---------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度 区運営方針 主な事業・取組 項目4 健康と福祉のまちづくり
-------------	-------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	健康増進法、老人福祉法、横浜市地域福祉保健計画、第2期健康横浜21
------------	-----------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康みちづくり活用のための検討・調査等の実施	コースガイドマップ・Web等の作成及びイベント等の実施	ガイドマップを活用したウォーキング講座の実施。コースへのルート表示

【実施内容】

- 和泉川健康みちづくりルートを介護予防・健康づくりの活用できる場として推進していきます。
- コースガイドマップを活用したウォーキング講座を実施します。
- 和泉川健康のみち利便性向上のため、ルート表示等の作成します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
和泉川健康みちづくり事業	1,065	2,230	△ 1,165	元年度契約に基づく減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,065	2,230	△ 1,165	

【根拠とするデータ等】
令和元年度 泉区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	斎藤昌代 (福祉保健課) 塗師浩美 (高齢・障害支援課)	池田敬士 (福祉保健課) 志澤 淳 (高齢・障害支援課)	梅田 郁子 (福祉保健課) 萩原 久子 (高齢・障害支援課) 栗城 万奈 (高齢・障害支援課)

[泉 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害児・者社会参加促進支援事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,381					1,381
前年度	2,190					2,190
増△減	△ 809	0	0	0	0	△ 809

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	1,840	1,840	1,990
メリット+一般財源	1,840	1,840	1,990
決算	1,834	1,739	1,973
決算	1,834	1,739	1,973

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	1,381	1,381
一般財源	1,381	1,381
方針に関する決裁 種別()	有:件名()、日付(年月)	
	(無)	

事業の概要(目的)	障害の有無に関わらず、安心して生活できる地域社会の構築を実現するために、障害児・者や難病患者に対する理解を深め当事者・地域・行政が協働し、障害児者や難病患者等の地域生活を支えあう風土づくりを進めます。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	障害者手帳の取得者数は年々増加傾向にあり、障害児・者の社会参加の機会の確保を進めるとともに、地域住民と障害者の交流の場を持つことで障害者の理解啓発を推進する必要があります。平成31年まで実施していたふれあい「ずみ」ザ”軽スポーツ大会は、コロナウィルス感染症拡大防止のため開催を中止しています。大規模な大会開催は困難な状況ですが、障害者と地域の相互理解を深めていくために、より身近な地域で日常的な交流を図る必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度
2 運営方針等との関係	R2区運営方針・目標達成に向けた施策「4健康と福祉のまちづくり障害児・者社会参加促進事業」
3 根拠法令・要綱等	障害者基本法、障害者総合支援法、市難病相談事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】			
シールラリー	2年度見込み	3年度見込み	4年度見込み
参加者数(人)	1,000	1,200	1,400

- 【実施内容】
- 1 泉ふれあいシールラリー開催
(内容) 区民の障害理解の推進を目的に、区内の障害者福祉施設を巡るシールラリーを実施します。障害のある方が日頃活動している施設に実際に足を運んでいただくことで、障害者と地域の方との交流や障害への理解を深めます。
(実施期間) 令和3年12月1日(水)～令和4年2月12日(金)
 - 2 自主製品等販売活動支援事業
(内容) 障害児・者施設、地域作業所等の障害者施設の連携や自主製品等の販売活動の機会の確保を通して、障害児・者の社会参加の促進を支援します。①区庁舎内における自主製品の販売活動や啓発活動の支援、②市営地下鉄戸塚駅構内における泉区産の農産物の販売機会の確保、③その他、障害者施設の販売の支援を行います。
(実施回数) ・区庁舎内自主製品等販売：週5日(通年)
・横浜市営地下鉄 戸塚駅構内における泉区産農産物の販売：週2日(通年)
 - 3 難病支援
難病患者の適切な療養とその家族の支援のため、交流会を実施します。(年10回)

【事業費の内訳】				
	本年度	前年度	差引	説明
障害者福祉施設シールラリー開催	1,012		1,012	
自主製品等販売活動支援	329	329	0	
難病支援	40	40	0	
軽スポーツ大会開催支援	0	1,821	△ 1,821	
			0	
事業費合計	1,381	2,190	△ 809	

【根拠とするデータ等】
横浜市統計書(身体障害者手帳・精神保健福祉手帳・療育手帳交付状況)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害 係
	塗師 浩美	坂田 瑞恵	荒井 琢夢

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名 泉区地域福祉保健計画推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	中期計画-38の政策	事業評価 書番号
	中期計画-行政運営	中期計画-財政運営	重点事業	事業評価 書番号
	新規・拡充	温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,951					2,951
前年度	2,478					2,478
増△減	473	0	0	0	0	473

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	168	228	468	予算 事業費	300	300
メリット+一般財源	168	228	468	一般財源	300	300
決算 事業費	197	270	486	方針に関する決裁 種別()		
メリット+一般財源	197	270	486	有:件名()、日付(年月日)		

事業の概要(目的)	地域の課題を地域で解決し、地域の支え合いによって誰もが安心して暮らせるまちをつくるため、地域住民、関係機関・団体、行政が協働で取り組む地域福祉保健計画を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

第4期泉区地域福祉保健計画においても、新たな3つの推進の柱「健やかに過ごせるまち」「必要な支援が届くまち」「活動と活動がつながるまち」を立て、新たな課題解決にむけた重点項目を設定して、取り組んでいきます。また、4期計画からは「地域包括ケア」の取組との連携を進め、一体的な計画として策定・推進していきます。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	----------	---------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度泉区運営方針 重点施策 4 健康と福祉のまちづくり

3 根拠法令・要綱等 社会福祉法、第4期横浜市地域福祉保健計画、泉区地域福祉保健推進協議会運営要綱、泉区地域福祉保健計画策定・推進検討会運営要綱

【実績の推移・今後見込み】

- ・17年度 12地区別計画を策定
- ・18～20年度 毎年度地区別計画(アクションプラン)策定と推進
- ・21年度 第2期計画(区計画・地区別計画)の策定
- ・22～27年度 第2期計画の推進
- ・27年度 第3期計画(区計画・地区別計画)の策定
- ・28～32年度 第3期計画の推進
- ・30年度 第3期計画の中間振り返り
- ・元年度 第4期区計画の骨子策定
- ・3年度 第4期計画(区計画・地区別計画)の策定
- ・3～7年度 第4期計画の推進

【実施内容】

1 区計画の推進

(1) 区計画の進捗状況の確認、評価や各地区の情報交換を目的に、泉区地域福祉保健推進協議会を開催します。(年2回)

(2) 第4期計画を広く周知し、各地区の取組を発表する機会として、計画推進イベントと活動発表会を開催します。(2月)(⇒市民局予算で執行)

2 地区別計画の推進(⇒市民局予算で執行)

(1) 地区別計画の取組を支援します。(通年)

(2) 各地区で策定する令和3年度アクションプランを発行し、計画の周知を促進します。(6～9月)

(3) 区・区社協・地域ケアプラザで構成する地域支援チームの情報交換と計画の進行管理を目的に、地域支援チームリーダーの連絡会を開催します。(年2回 4月・9月)

3 地域との協働をすすめるための研修(⇒市民局予算で執行)

地域支援の意義や役割について理解を深め、地域支援チーム活動への積極的な参加につなげるため、区・区社協・地域ケアプラザ職員を対象としたスキルアップ研修を実施します(年1回)。

4 第4期計画の策定

第4期計画の区計画、地区別計画を策定します。また併せて、冊子やパンフレットを作成・配布し、計画内容を周知します。

5 第4期計画周知・啓発

第4期計画の周知・啓発を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 区計画の推進	231	168	63	策定・推進検討会を定期開催することによる増
2 第4期計画策定	1,360	1,650	△290	4期計画の検討が終了したことによる減
3 第4期計画周知・啓発	1,360	660	700	実施内容を変更したことによる増
事業費合計	2,951	2,478	473	

【根拠とするデータ等】

第3期横浜市地域福祉保健計画、第4期横浜市地域福祉保健計画、泉区地域分析結果報告書、泉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	齋藤 昌代	鈴 大佑	青森 亮 小林 裕一

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	--------------------------	--------	--------

事業名	「食と暮らし」の 安全・動物愛護推進事業
-----	-------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	686					686
前年度	769					769
増△減	△ 83	0	0	0	0	△ 83

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	769	769	772
メリット+一般財源	769	769	772
決 算 事業費	768	768	769
メリット+一般財源	768	768	711

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	686	686
一般財源	686	686

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	<p>区民の安全で安心な暮らしを守るために、食品衛生、環境衛生の営業施設及び関係施設の監視指導を通じて食中毒や感染症の防止対策について啓発指導を行い施設の衛生確保を図ります。</p> <p>犬や猫の適正飼育や動物愛護思想の普及啓発を行いペット動物に起因する苦情問題等を軽減します。</p> <p>蚊の発生防止やハチ等の衛生害虫等の駆除等について適切な対応方法を啓発することで、感染症の防止や衛生害虫の被害を軽減します。</p>
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

①区内において食品等に関する相談や苦情が多く寄せられます。中には食品衛生に関する知識を持つことにより未然に被害等を防ぐことができるものもあります。区民が自らの健康を守るため、食品衛生に関する正しい知識を持つことも必要です。

②春から秋にかけてハチの巣の駆除相談が多く寄せられ、適切な駆除方法の説明が求められています。

③糞尿の臭いや鳴き声など動物の苦情が多数寄せられており、行政の対応が求められています。

④蚊が媒介する感染症を防ぐため、蚊の発生を抑える啓発が必要です。

⑤地域協議会の評価において、全体的に事業PR不足が認められるので、区民に広く周知させるためわかりやすい啓発方法の検討が求められています。

⑥令和2年度から義務化された飲食店等における「HACCPの考え方に基づく衛生管理」の導入啓発・支援が重要課題となっています。

	29年度	30年度	令和1年度	令和2年度	備考
食中毒発生件数	1(35)	1(52)	1(50)	1(22)	()横浜市 食中毒発生件数は年集計
ハチの巣駆除相談数	306	285	206	77	
犬の苦情件数(件)	90	97	101	37	
猫の苦情件数(件)	83	57	64	26	

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度泉区運営方針 I 目標達成に向けた施策 3 安全・安心なまちづくり

3 根拠法令・要綱等 食品衛生法、環境営業関係法令、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、狂犬病予防法、横浜市スズメバチ等対策要領、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度予定	R3年度予定	備考
食中毒予防キャンペーン	2	2	2	1	2	開催回数(回)
	1,500	1,500	1,500	500	1,500	参加人数(人)
食中毒予防講習会	34	25	23	23	23	開催回数(回)
	2,600	2,500	2,300	2,300	2,300	参加人数(人)
動物適正飼育講習会	2	2	2	2	2	開催回数(回)
	81	96	106	100	100	参加人数(人)
ハチの駆除機材貸出件数	11	19	7	15	15	件数(件)

【実施内容】

1 食とくらしの安全・安心サポート事業（継続事業）

- 内容：①泉区食品衛生協会と協力し「食中毒予防キャンペーン」を開催します。（夏期と冬期の2回）
 ②食中毒予防を中心に保育園・高齢者福祉施設への立入調査を実施し衛生支援を行います。
 ③地域や団体の要望に基づく食品衛生出前講習会を開催し、衛生意識の向上を図ります。
 ④地域のお祭りなどのイベントにおける食中毒を予防するため、模擬店等食品提供者を対象に衛生講習会を開催します。（夏期と冬期の2回）
 ⑤食中毒警報及びノロウイルス食中毒警戒情報の発令時にホームページを活用した注意喚起を実施します。
 ⑥区内飲食店等からの食中毒発生を予防するため、HACCP導入支援の講習会実施など啓発指導を行います。

対象：区民、食品関係業者、保育園、病院、社会福祉施設 等

2 ハチの自主駆除支援事業（継続事業）

- 内容：①春から秋にかけて区民から多数寄せられるハチの巣の駆除・相談に対し、電話による相談対応や現地での助言を行います。また、安全に駆除するための「ハチ駆除用機材」の貸出を行います。
 ②「ハチの巣は早期発見早期駆除」と「アシナガバチの巣の自主駆除」を普及するため次の方法により広く区民へ啓発します。
 ア 区役所窓口で相談者に「アシナガバチの巣の自主駆除」啓発リーフレットを配布
 イ 自治会町内会、生活衛生協議会（理容所・美容所・クリーニング所・浴場）、区民利用施設等の協力を得て、「アシナガバチの巣の自主駆除」啓発リーフレットの配布等を行い、安全な駆除に関する啓発を行います。
 ウ 広報よこはまへの啓発記事の掲載
 エ 駆除相談等が多くなる時期にホームページのお知らせ覧等を活用した啓発の実施

対象：区民 等

3 犬や猫の適正飼育普及啓発事業（継続事業）

- 内容：①散歩での糞尿被害や鳴き声など犬の苦情を軽減するため、春に実施する狂犬病予防注射時に犬の適正飼育等のチラシを配布し、飼い主への普及啓発を行います。
 ②飼い主のマナー向上のため「犬の飼い方教室」を開催し、適正飼育及び災害時の備え（訓練）について普及啓発を行います。
 ③飼い主のいない猫の問題に対し、啓発パンフレットの活用や地域で講習会等を行うことで地域猫活動を推進し、苦情の軽減を図ります。
 ④保育園児が描く「どうぶつ絵画展」を開催し、動物愛護思想の啓発を図ります。

対象：区民、保育園、地域防災拠点運営委員会、動物取扱業者、 等

4 蚊媒介感染症防止啓発事業（継続事業）

- 内容：①蚊に刺されない対策と蚊の発生源を減らすため、次の方法により広く区民に啓発します。
 ア 区役所窓口で相談者に啓発リーフレットを配布
 イ 自治会町内会、生活衛生協議会（理容所・美容所・クリーニング所・浴場）、区民利用施設等の協力を得て、啓発リーフレットの配布等を行い、蚊に刺されない対策と防除対策の啓発を行います。
 ウ 広報よこはまへの啓発記事の掲載
 エ 駆除相談等が多くなる時期にホームページのお知らせ覧等を活用した啓発の実施
 ②自治会町内会からの要請に基づき啓発リーフレットを配布します。
 また、区役所で駆除機材の貸出しを行います。

対象：区民

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食とくらしの安全・安心サポート事業	330	340	△ 10	年度契約実績に基づく減
ハチの自主駆除支援事業	50	100	△ 50	購入物品の精査による減
犬や猫の適正飼育普及啓発事業	261	261	0	
蚊媒介感染症防止啓発事業	45	68	△ 23	印刷物在庫の活用による
			0	
			0	
事業費合計	686	769	△ 83	

【根拠とするデータ等】

食中毒予防キャンペーン参加者数、各種食中毒予防講習会参加者数、ハチ・蚊の相談件数、地域猫支援事業団体数、地域猫講習会参加者数、動物絵画展参加保育園参加者人数、地域防災拠点ペット同行避難訓練参加者数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活衛生 係
	笹尾 忠由	岸 邦彦	岸 邦彦